

## 第 2 章

---

---

### 障がいのある人の現状

---

---

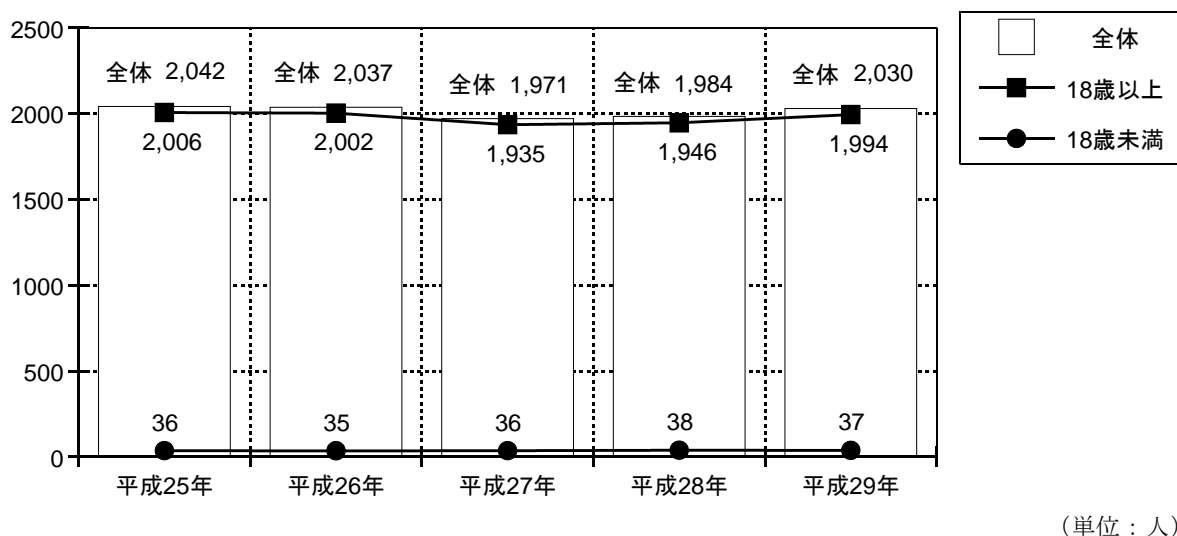
## 第1節 障がいのある人の現状

### 1 身体障がいのある人の現状

身体障害者手帳交付者数は、平成29年9月30日で、2,030人となっており、総人口46,887人に対する割合は4.3%で、平成26年3月末と比較すると約5年間で人口割合において0.1%増加しています。

年齢階層別に見ると、平成29年9月30日では、65歳以上が1,464人と、全体の72.1%を占めています。

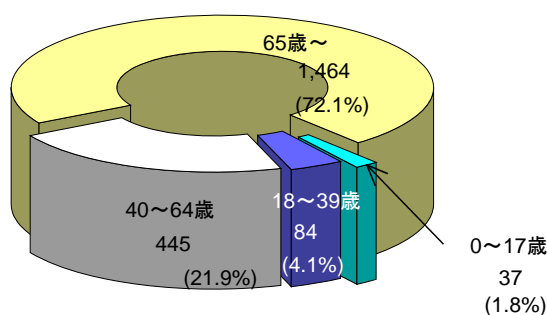
#### ■身体障害者手帳交付者数の推移



	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
18歳未満	36	35	36	38	37
18歳以上	2,006	2,002	1,935	1,946	1,993
合計	2,042	2,037	1,971	1,984	2,030

(注) 平成29年のみ9月30日現在、それ以外の各年度は3月末現在

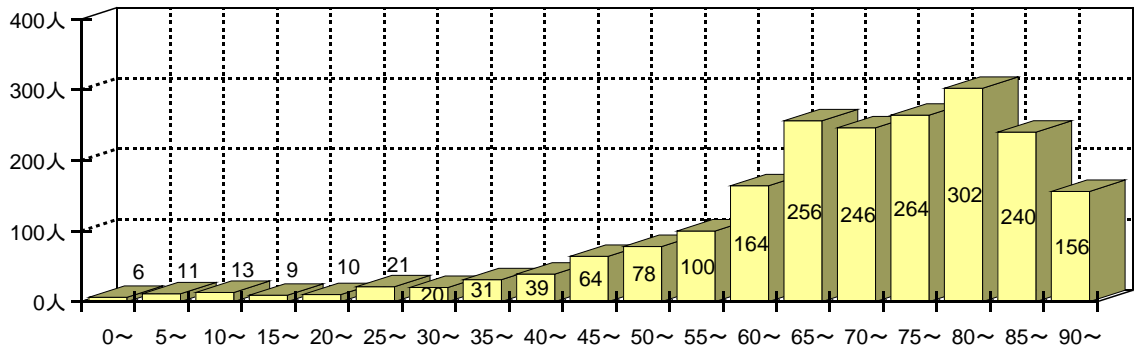
#### ■身体障害者手帳交付者の年齢階層別の割合



0～17歳	18～39歳	40～64歳	65歳～	合計
37	84	445	1,464	2,030

(注) 平成29年9月30日現在

■身体障害者手帳交付者の年齢階層別の現状



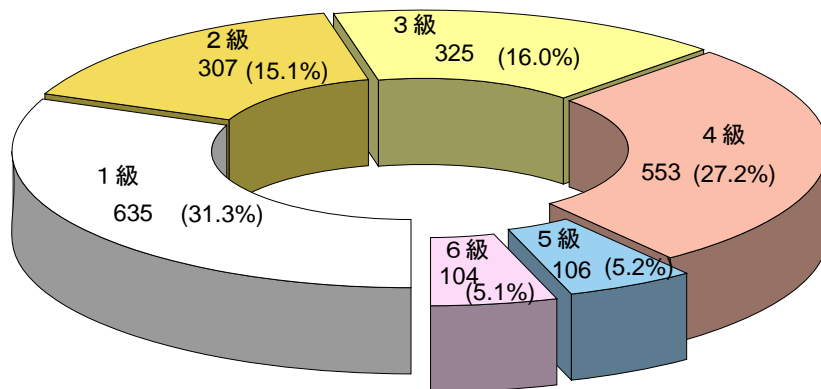
(単位：人)

年齢	人数	年齢	人数	年齢	人数	年齢	人数	年齢	人数
0～4歳	6	20～24歳	10	40～44歳	39	60～64歳	164	80～84歳	302
5～9歳	11	25～29歳	21	45～49歳	64	65～69歳	256	85～89歳	240
10～14歳	13	30～34歳	20	50～54歳	78	70～74歳	246	90歳～	156
15～19歳	9	35～39歳	31	55～59歳	100	75～79歳	264	合計	2,030

(注) 平成29年9月30日現在

障がい等級別では、平成27年3月末には、1級が600人（29.5%）、2級が333人（16.3%）、3級が355人（17.4%）、4級が558人（27.4%）だったのに対し、平成29年9月30日には、1級が635人（31.3%）と35人増加し、2級が307人（15.1%）と26人減少、3級が325人（16.0%）と30人減少し、4級が553人（27.2%）と5人減少しています。

平成29年9月30日の1・2級の重度者数は、平成27年3月末と比較すると約3年間で9人増の942人となっており、身体障害者手帳交付者全体の46.4%となっています。

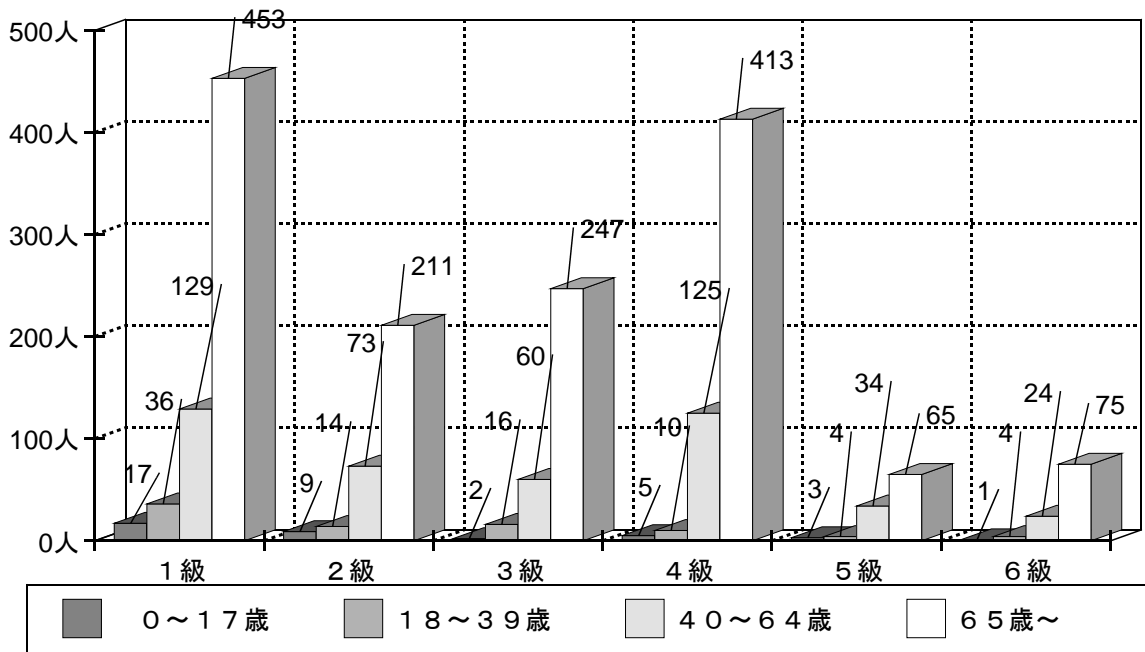
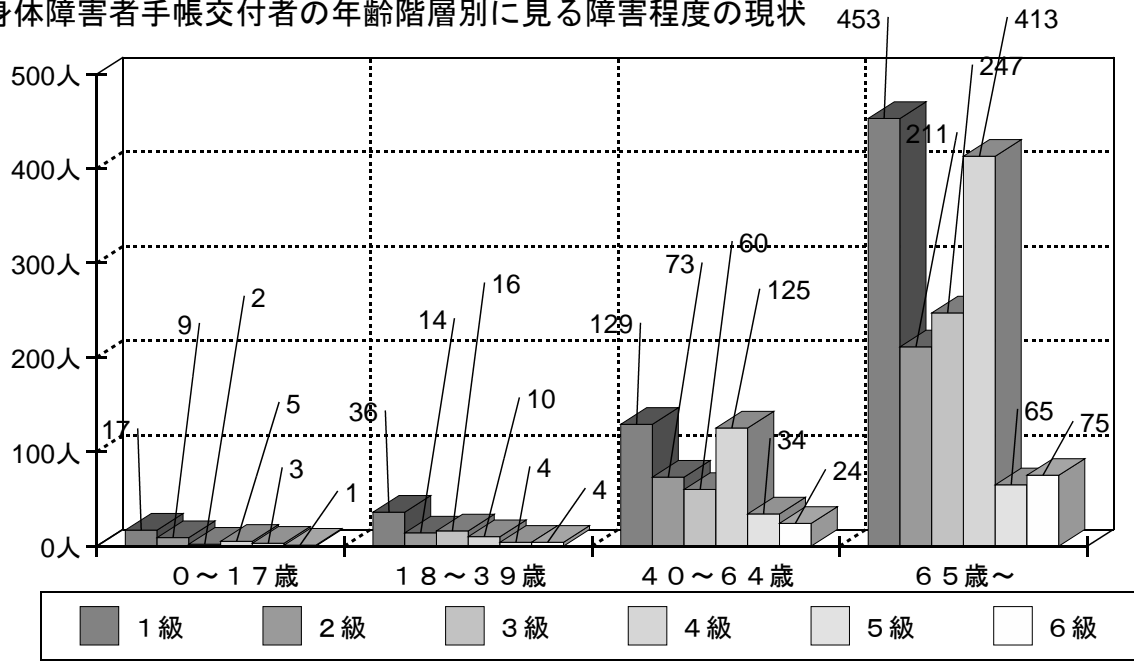


(単位：人)

	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
平成26年度	600	333	355	558	96	95	2,037
平成29年度	635	307	325	553	106	104	2,030

(注) 平成29年9月30日現在

■身体障害者手帳交付者の年齢階層別に見る障害程度の現状



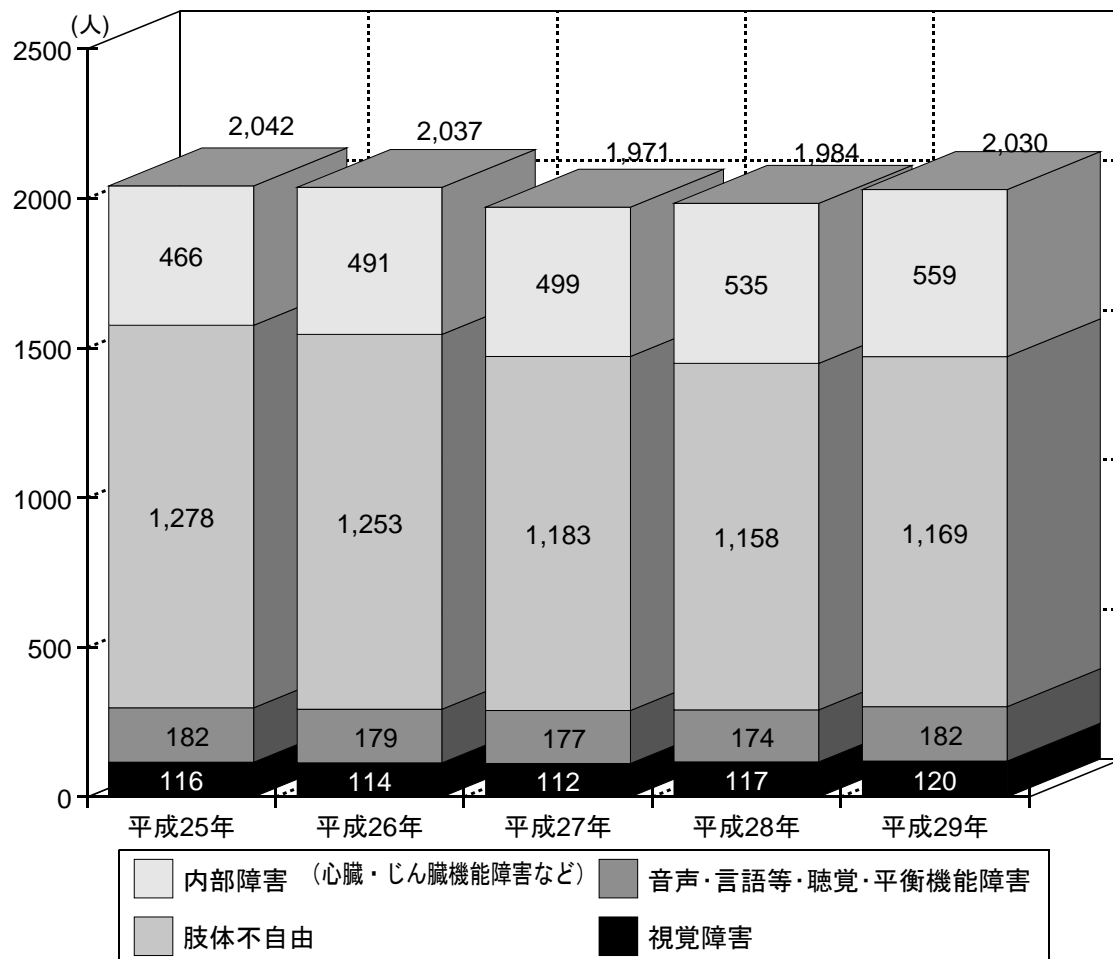
(単位：人)

	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
0~17歳	17	9	2	5	3	1	37
18~39歳	36	14	16	10	4	4	84
40~64歳	129	73	60	125	34	24	445
65歳~	453	211	247	413	65	75	1,464
合計	635	307	325	553	106	104	2,030

(注) 平成29年9月30日現在

障がい種類別に見ると、平成29年10月1日では、肢体不自由が1,169人と全体の57.6%を占めており、次いで内部障害が559人（27.5%）、音声・言語等・聴覚・平衡機能障害が183人（9.0%）、視覚障害が120人（5.9%）となっています。

### ■身体障害者手帳交付者の障がい種類別の内訳

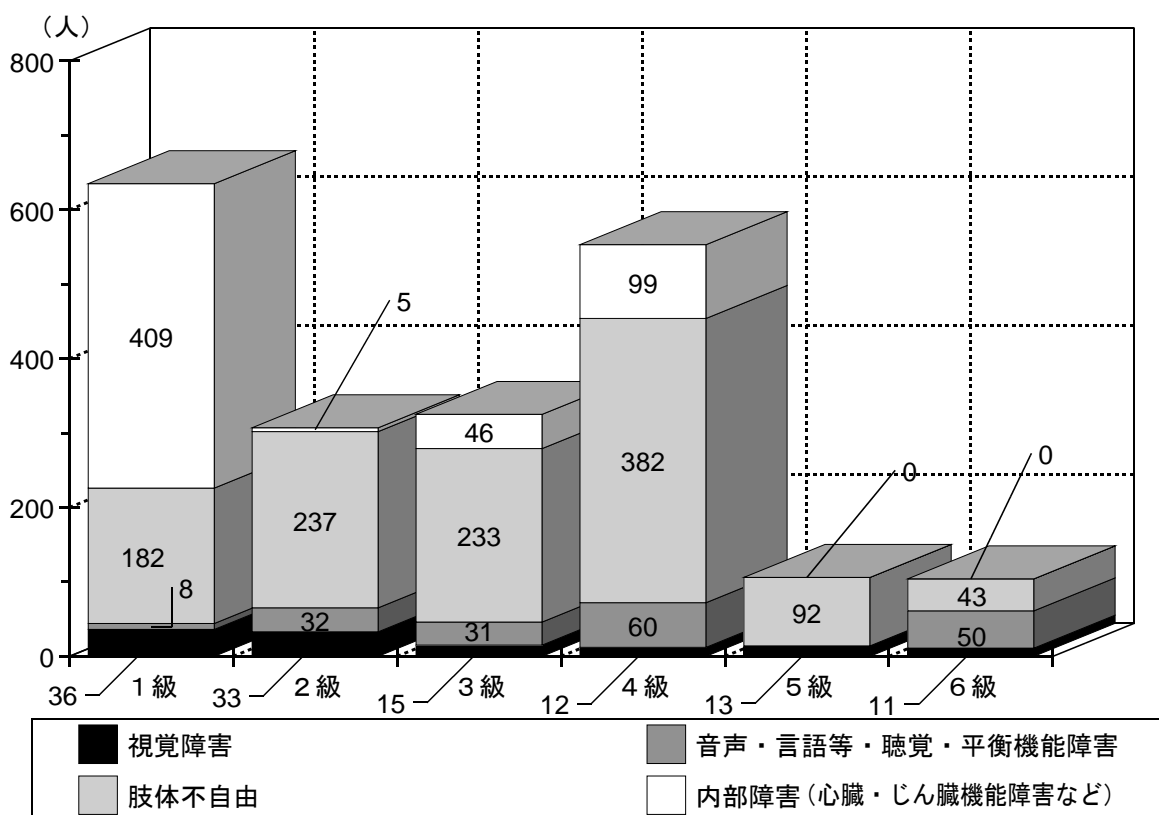


(単位：人)

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
視覚障害	116	114	112	117	120
音声・言語等・聴覚・平衡機能障害	182	179	177	174	182
肢体不自由	1,278	1,253	1,183	1,158	1,169
内部障害(心臓・じん臓機能障害など)	466	491	499	535	559
合計	2,042	2,037	1,971	1,984	2,030

(注) 平成29年のみ10月1日現在、それ以外の各年度は3月末現在

■身体障害者手帳交付者の障がい種類別の現状



(単位：人)

		1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
合	視覚障害	36	33	15	12	13	11	120
	音声・言語等・聴覚・平衡機能障害	8	32	31	60	1	50	182
計	肢体不自由	182	237	233	382	92	43	1,169
	内部障害 (心臓・じん臓機能障害など)	409	5	46	99	-	-	559
	合計	635	307	325	553	106	104	2,030

【内訳】

		1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
18歳未満	視覚障害	-	-	-	-	-	-	0
	音声・言語等・聴覚・平衡機能障害	-	-	-	-	-	1	1
	肢体不自由	13	9	2	5	3	-	32
	内部障害 (心臓・じん臓機能障害など)	4	-	-	-	-	-	4
	合計	17	9	2	5	3	1	37
18歳以上	視覚障害	36	33	15	12	13	11	120
	音声・言語等・聴覚・平衡機能障害	8	32	31	60	1	49	181
	肢体不自由	169	228	231	377	89	43	1,137
	内部障害 (心臓・じん臓機能障害など)	405	5	46	99	-	-	555
	合計	618	298	323	548	103	103	1,993

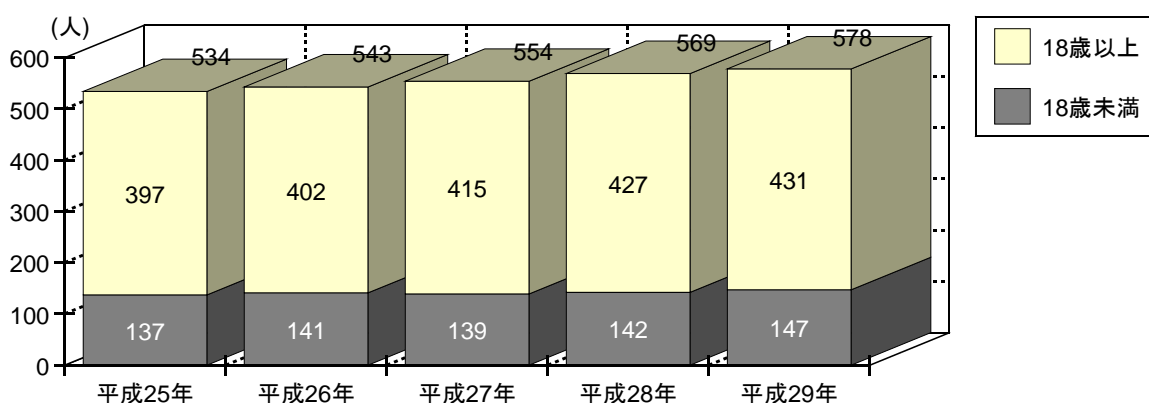
(注) 平成29年9月30日現在

## 2 知的障がいのある人の現状

療育手帳の交付者数は、平成29年9月30日で578人となっており、総人口46,887人に対する割合は1.2%で、平成26年3月末と比較すると約3年間で44人増加しています。

年齢階層別に見ると、平成29年9月30日で18歳以上が431人で全体の74.6%を占めており、18歳未満が147人（25.4%）となっています。

### ■療育手帳交付者数の推移



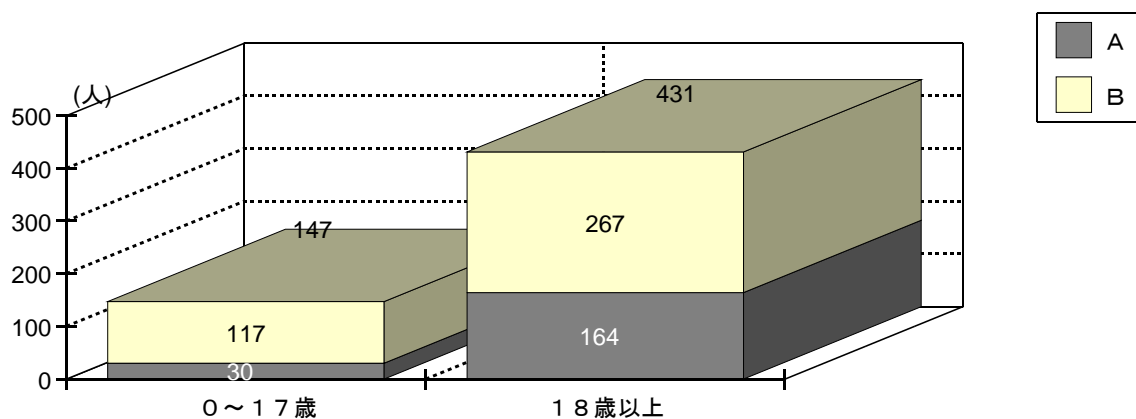
(単位：人)

		平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
18歳未満	A	42	42	40	36	30
	B	95	99	99	106	117
	計	137	141	139	142	147
18歳以上	A	168	169	179	174	164
	B	229	233	236	253	267
	計	397	402	415	427	431
合計		534	543	554	569	578

(注1) 平成29年のみ9月30日現在、それ以外の各年度は3月末現在

(注2) 療育手帳A：最重度、重度 療育手帳B：中度、軽度

### ■療育手帳交付者の年齢階層別の現状



療育手帳の初回取得年齢について、昭和・平成生まれをライフステージごとにより統計を行いました。

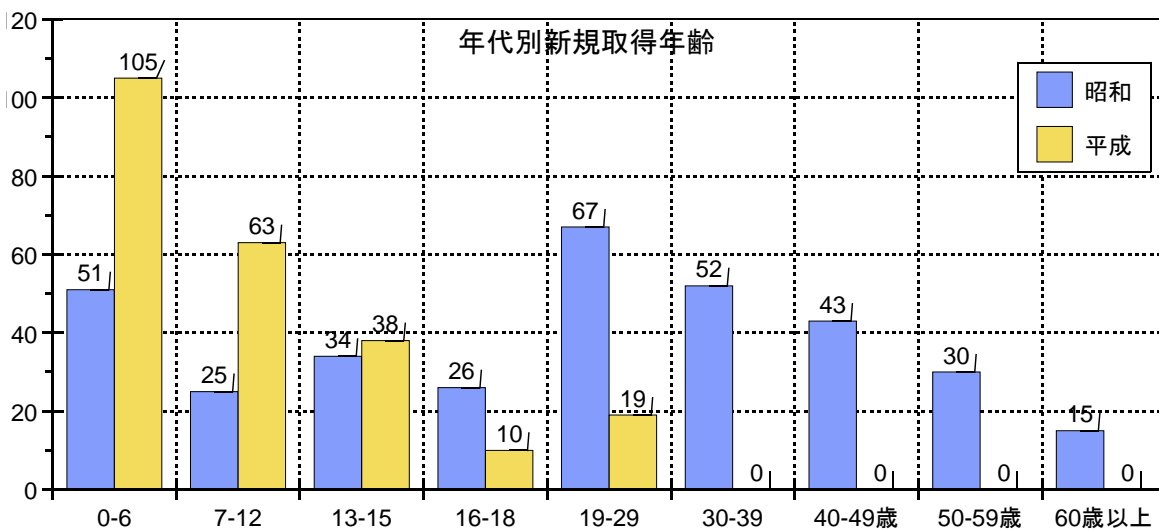
昭和生まれにおいては、義務教育時（15歳以下）における取得者は343人中に対し110人と全体の32.1%となっており、19歳以上での取得者が207人と60.3%を占めているなど、高校卒業後の年齢層、とりわけ成人になってからの取得割合が高くなっています。

平成生まれにおいては、小学校卒業前までの取得者が全体235名中に対し168名となっており、全体の71.5%を占め、特に小学校入学前の年齢層で105名（44.7%）であるなど、早期に取得する傾向が見られるようになっています。

■初回交付年齢

年齢	昭和	平成
0～6歳	51	105
7～12歳	25	63
13～15歳	34	38
16～18歳	26	10
19～29歳	67	19
30～39歳	52	-
40～49歳	43	-
50～59歳	30	-
60歳以上	15	-
計	343	235

■療育手帳の新規取得の年齢分布状況



(注) 平成29年9月30日現在

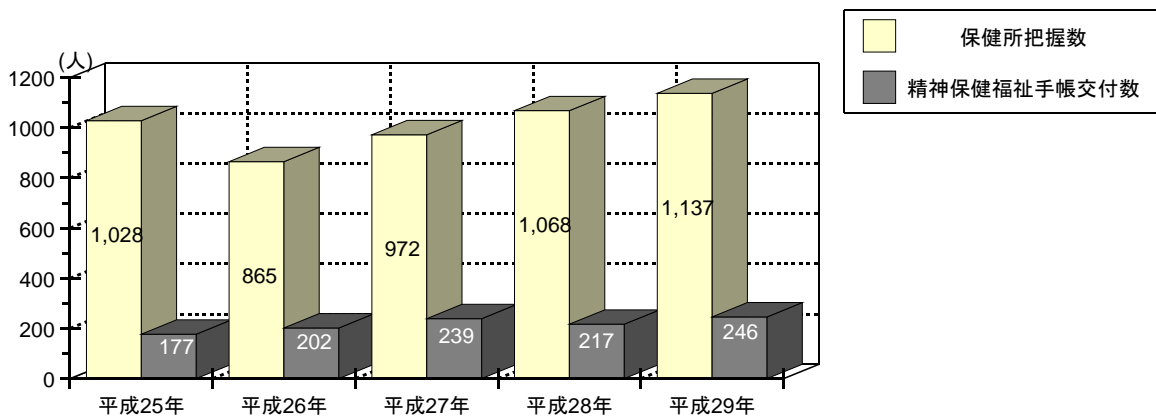


### 3 精神障がいのある人の現状

保健所で把握している精神障がいのある人の数は、平成29年9月30日で1,137人となっており、同月末の総人口46,887人に対する割合は2.4%で、平成25年12月末と比較すると約4年間で109人（10.6%）増加しています。

精神保健福祉手帳の交付者数は、平成29年9月30日で246人となっており、障害の程度別では重度の1級が29人（11.8%）、中度の2級が147人（59.8%）、軽度の3級が70人（28.5%）です。

#### ■精神障がいのある人と精神保健福祉手帳交付者の推移



（単位：人）

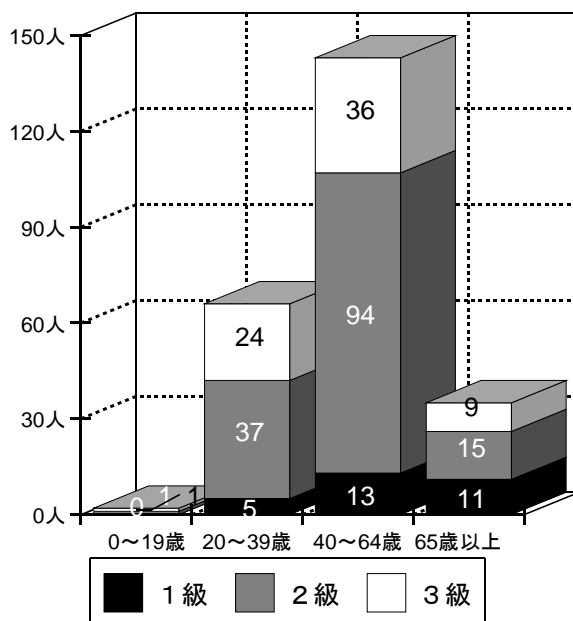
	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
保健所把握数	1,028	865	972	1,068	1,137
精神保健福祉手帳交付数	177	202	239	217	246

（注1）保健所把握数は、平成29年のみ9月末、それ以外の各年度は12月末現在

（注2）精神保健福祉手帳交付数は、平成29年のみ9月末現在、それ以外の各年度は3月末現在

資料：渡島保健所

#### ■精神保健福祉手帳交付者の現状



（単位：人）

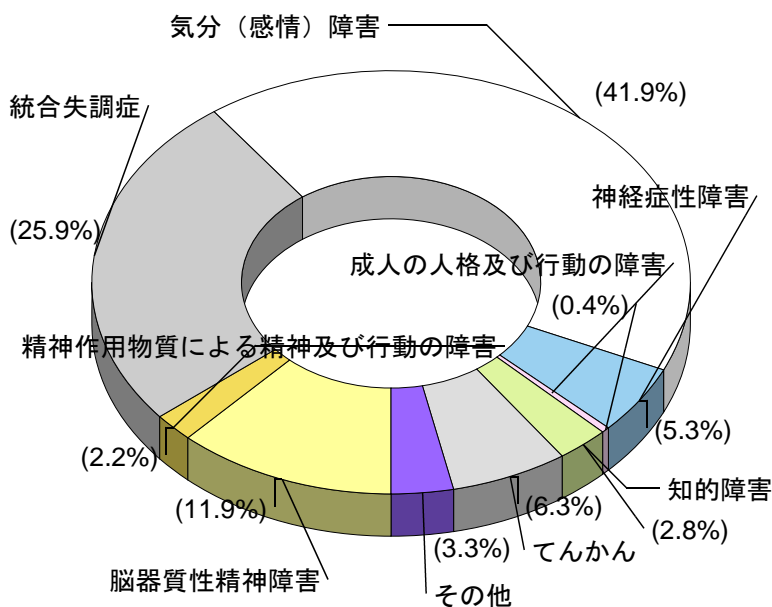
	1級	2級	3級	合計
0～19歳	-	1	1	2
20～39歳	5	37	24	66
40～64歳	13	94	36	143
65歳以上	11	15	9	35
合計	29	147	70	246

（注）平成29年9月末現在 資料：渡島保健所

精神障害の病類別に見ると、気分（感情）障害がもっとも多く、平成29年9月末で、全体の41.9%を占めており、次いで統合失調症、脳器質性精神障害の順になっています。

### ■精神障がい病類別の現状

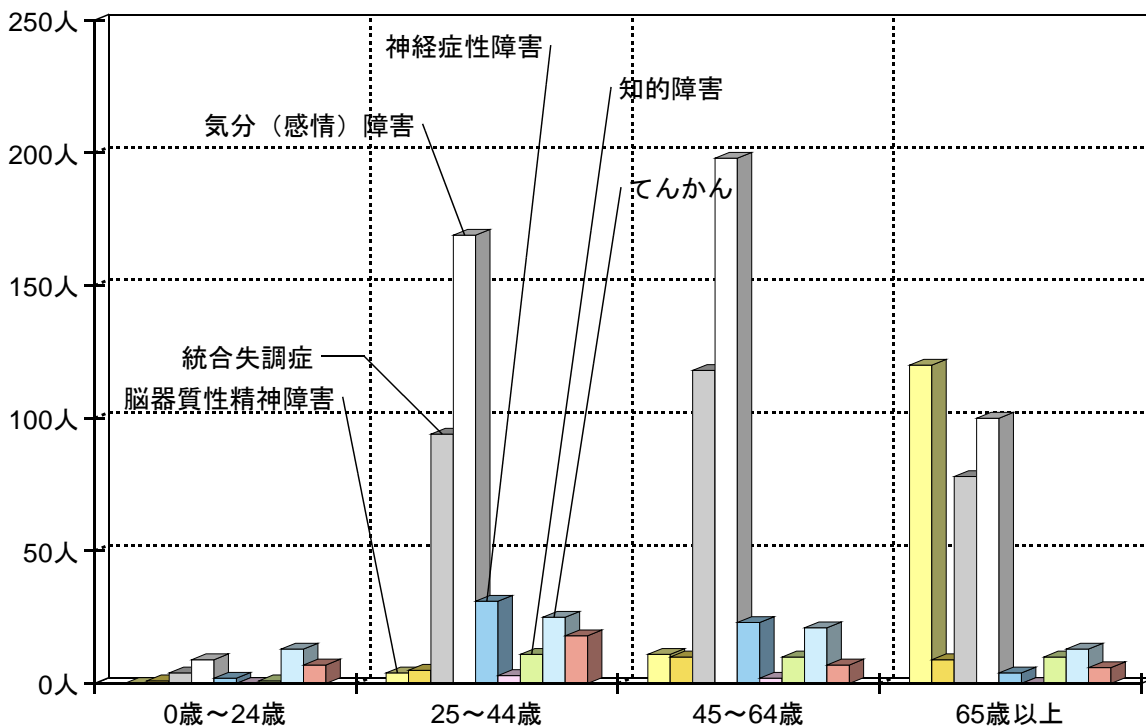
(単位：人)



病 類 名	人数
脳器質性精神障害	135
精神作用物質による精神及び行動の障害	25
統 合 失 調 症	294
気 分（感情）障害	476
神 経 症 性 障 害	60
成人の人格及び行動の障害	5
知 的 障 害	32
て ん かん	72
そ の 他	38
合 計	1,137

(注) 平成29年9月末現在

資料：渡島保健所



脳器質性精神障害	成人の人格及び行動の障害
精神作用物質による精神及び行動の障害	知的障害
統合失調症	てんかん
気分（感情）障害	その他
神経症性障害	

■精神障がい年齢階層別に見る病類別の現状

(単位：人)

	0～24歳	25～44歳	45～64歳	65歳以上	合計
脳器質性精神障害	-	4	11	120	135
精神作用物質による精神及び行動障害	1	5	10	9	25
統合失調症	4	94	118	78	294
気分（感情）障害	9	169	198	100	476
神経症性障害	2	31	23	4	60
成人の人格及び行動の障害	-	3	2	-	5
知的障害	1	11	10	10	32
てんかん	13	25	21	13	72
その他	7	18	7	6	38
合計	37	360	400	340	1,137

(注) 平成29年9月末現在

資料：渡島保健所

■精神障がいの病類別の入院・通院の現状

(単位：人)

	入院				通院			その他	合計
	措置入院	医療保護入院	その他の入院	小計	58条による通院※	その他の通院	小計		
脳器質性精神障害	-	34	32	66	28	19	47	22	135
精神作用物質による精神及び行動障害	-	6	5	11	5	2	7	7	25
統合失調症	-	26	30	56	164	19	183	55	294
気分（感情）障害	-	10	14	24	238	16	254	198	476
神経症性障害	-	2	2	4	34	3	37	19	60
成人の人格及び行動の障害	-	-	-	-	4	-	4	1	5
知的障害	-	6	5	11	8	9	17	4	32
てんかん	-	-	2	2	44	4	48	22	72
その他	-	1	1	2	8	6	14	22	38
合計	-	85	91	176	533	78	611	350	1,137

(注) 平成29年9月末現在

資料：渡島保健所

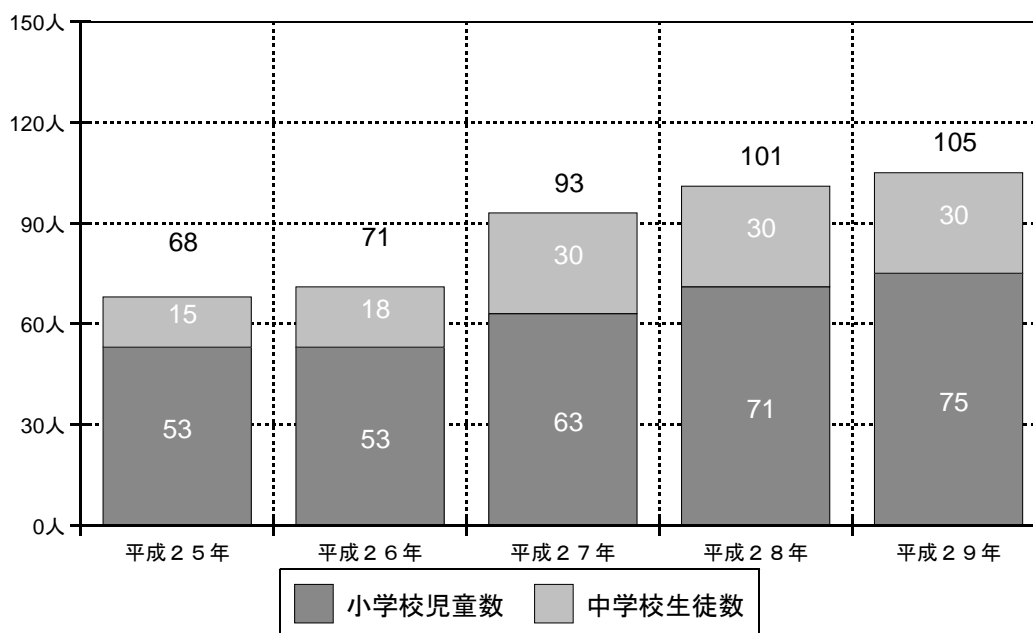
※ 障害者総合支援法第58条の規定による通院。この制度により、病院又は診療所で通院による医療を受ける場合に、医療費の自己負担が軽減されます。

## 4 特別支援学級の設置状況

平成29年9月30日で小学校の特別支援学級数は27学級、中学校は8学級、合計で35学級となっています。在籍児童・生徒数は、小学校が75人、中学校30人、合計105人となっています。

特別支援学級数の合計は、ほぼ変わりませんが、在籍児童・生徒数の合計は平成25年度の68人から平成29年度は105人となっており、1.5倍に増加しています。

■特別支援学級児童・生徒数の推移



(単位: 人)

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
小学校児童数	53	53	63	71	75
中学校生徒数	15	18	30	30	30
合計	68	71	93	101	105
小学校学級数	24	23	23	25	27
中学校学級数	9	10	12	8	8
合計	33	33	35	33	35

資料: 北斗市教育委員会、各年9月30日現在

## 第2節 北斗市における障がい者福祉に関する調査

### 在宅者等編(施設入所者以外の方のアンケート調査)

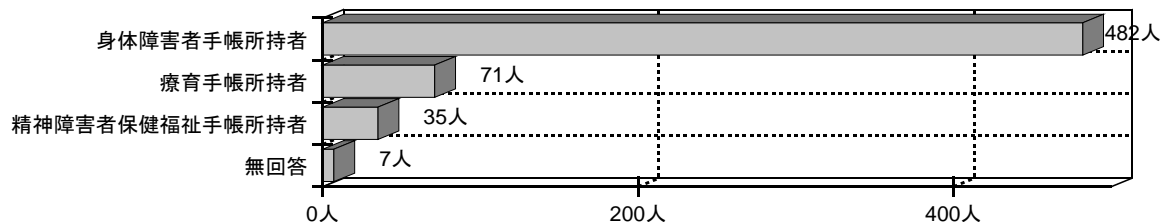
この調査は、身体障害者手帳、療育手帳及び精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている人の中から障がい者施設などに入所している人を除き1,200人を無作為に抽出し、アンケート調査書を郵送配付して行い595人の回答がありました。

回答のあった人は、身体障害者手帳を所持している人が482人(53.6%)、療育手帳を所持している人が71人(35.5%)、精神障害者保健福祉手帳を所持している人が35人(35.0%)、手帳の種類の無回答の人が7人(0.5%)となっています。

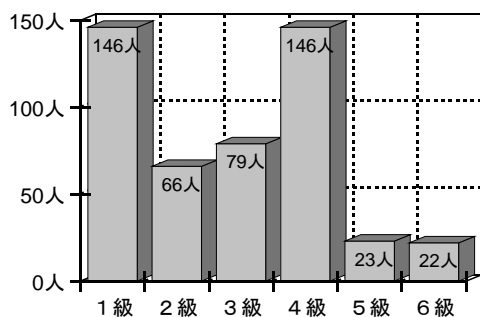
障がいの程度や年齢階層の割合については、北斗市の「障がいのある人の現状」とこの調査に回答のあった人の「手帳の所持状況」と「年齢構成」を比べてもほぼ同様の状況となっています。

#### 【回答者の状況】

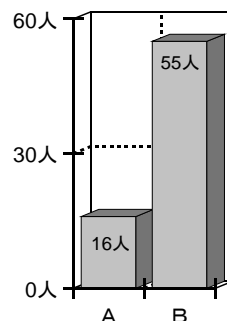
##### ■各種手帳の所持状況



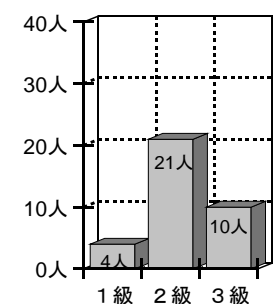
##### ●身体障害者手帳の所持者



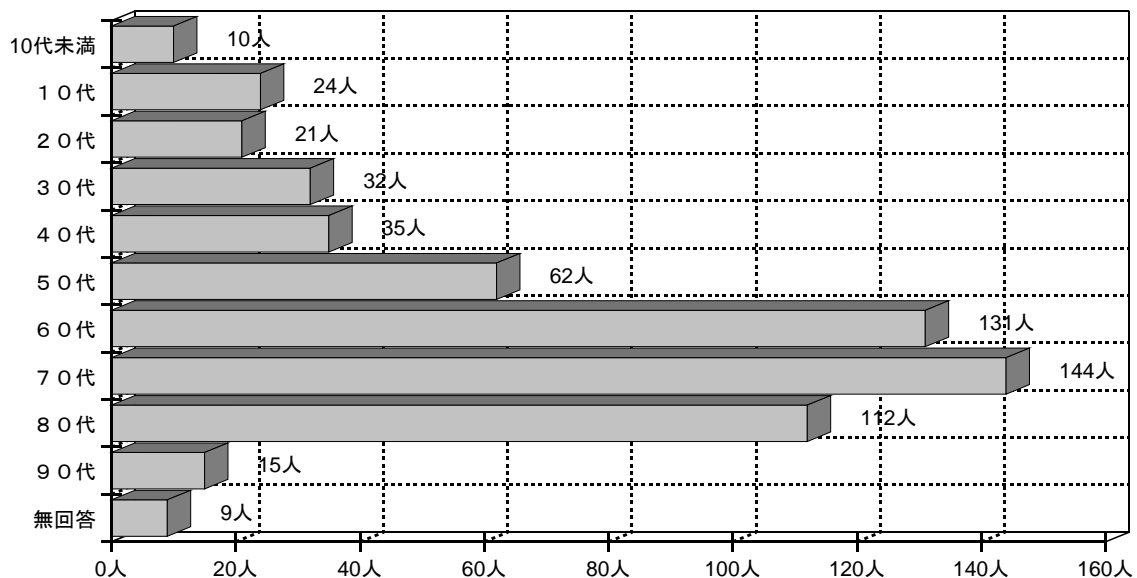
##### ●療育手帳の所持者



##### ●精神障害者保健福祉手帳の所持者



##### ●年齢階層

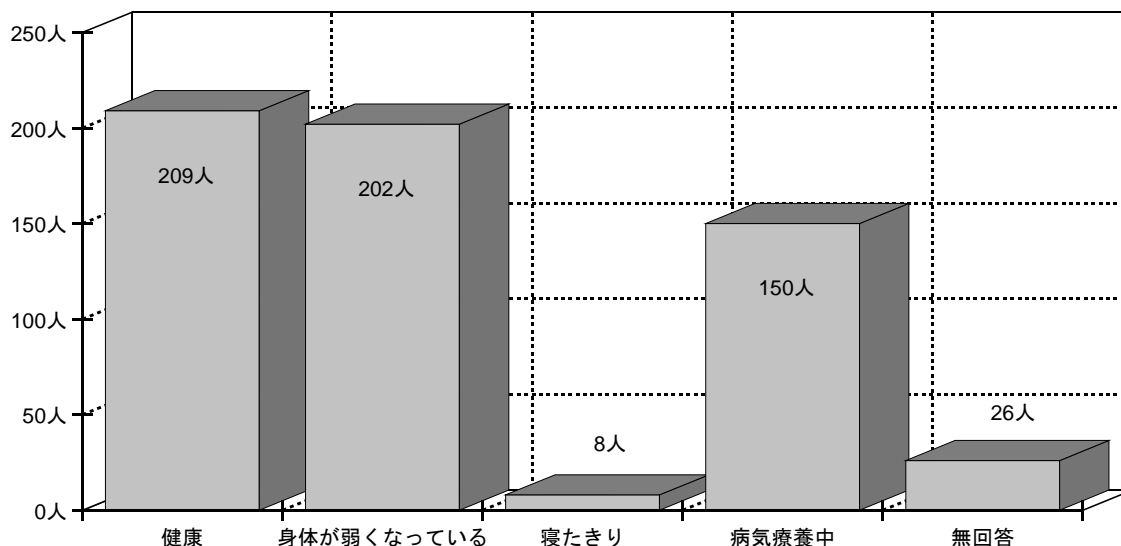


# 1 障がいのある人の状況

## 1 健康状態について

現在の健康状態については、「健康」が35.1%と最も多く、次いで「身体が弱くなっている」が33.9%、「病気療養中」25.2%、「寝たきり」が1.3%となっています。

【現在の健康状態[全体]】



## 2 障がいの種別について

アンケート回答者中、障がいの種別で最も多かったのは、「肢体不自由」で41.1%、次いで「内部障害」が21.6%となっています。

(複数回答)

障がい区分	実数 (人)	割合 (%)
視覚障害	19	2.5
聴覚または平衡機能の障害	49	6.5
音声機能、言語機能またはそしゃく機能の障害	16	2.1
肢体不自由	310	41.1
内部障害	163	21.6
知的障害	48	6.4
てんかん	19	2.5
精神障害	31	4.1
発達障害	40	5.3
特定疾患 (難病)	28	3.7
高次脳機能障害	4	0.5
その他	26	3.4
無回答	1	0.1
合計	754	100.0

### 3 介護保険の認定状況について

介護保険の認定状況については、40歳以上の92人（20.9%）が要介護認定を受けています。

#### 【介護保険の認定状況[40歳以上]】

要介護認定区分	実数（人）	割合（%）
要支援1	23	5.2
要支援2	34	7.7
要介護1	18	4.1
要介護2	7	1.6
要介護3	3	0.7
要介護4	5	1.1
要介護5	2	0.5
非該当の判定だった	1	0.2
申請中	1	0.2
認定を受けていない	347	78.7
合 計	441	100.0

### 4 障害支援（程度）区分の認定状況について

障害支援区分の認定状況については、56人で9.4%の人が障害支援区分の認定を受けて、障害福祉サービスを利用していると想定することができます。

#### 【障害支援区分の認定状況】

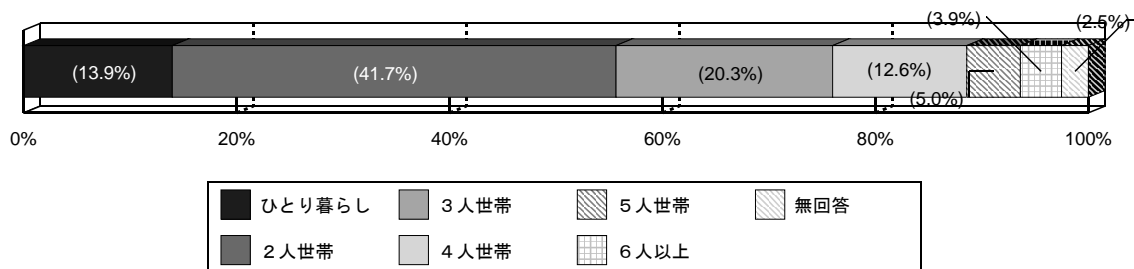
障害支援区分	実数（人）	割合（%）
区分1	10	1.7
区分2	15	2.5
区分3	16	2.7
区分4	9	1.5
区分5	1	0.2
区分6	5	0.8
認定を受けていない	388	65.2
無回答	151	25.4
合 計	595	100.0

## 2 世帯の状況

### 1 世帯の状況について

障がいのある人の世帯の状況については、「2人世帯」が41.7%と最も多く、次いで「3人世帯」が20.3%、「ひとり暮らし」が13.9%と続いています。

【世帯人員の構成比率】



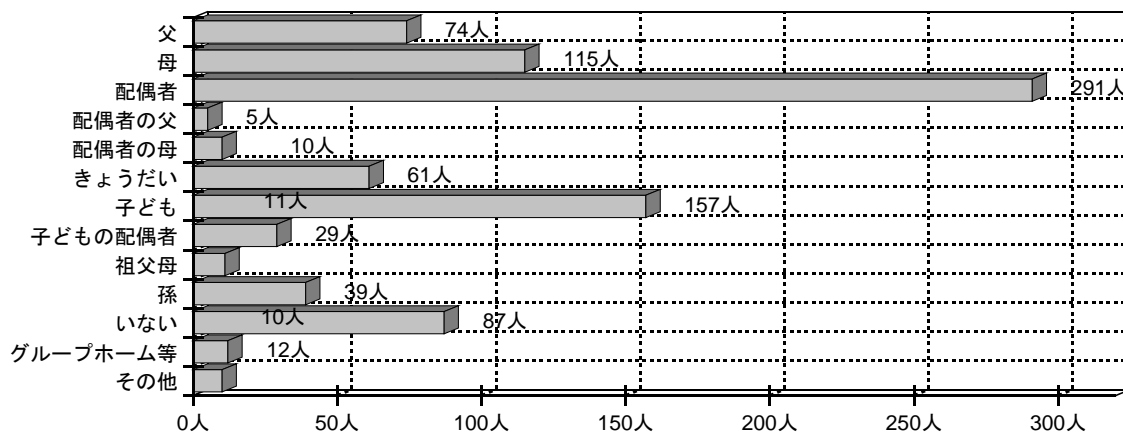
【世帯の人数】

世帯の人数	人数
ひとり暮らし	83
2人世帯	248
3人世帯	121
4人世帯	75
5人世帯	30
6人以上	23
無回答	15
合計	595

### 2 同居者の状況について

同居者の状況については、「配偶者」が32.3%と最も多く、次いで「子ども」が17.4%、「母親」が12.8%となっています。

【同居者の状況】－複数回答



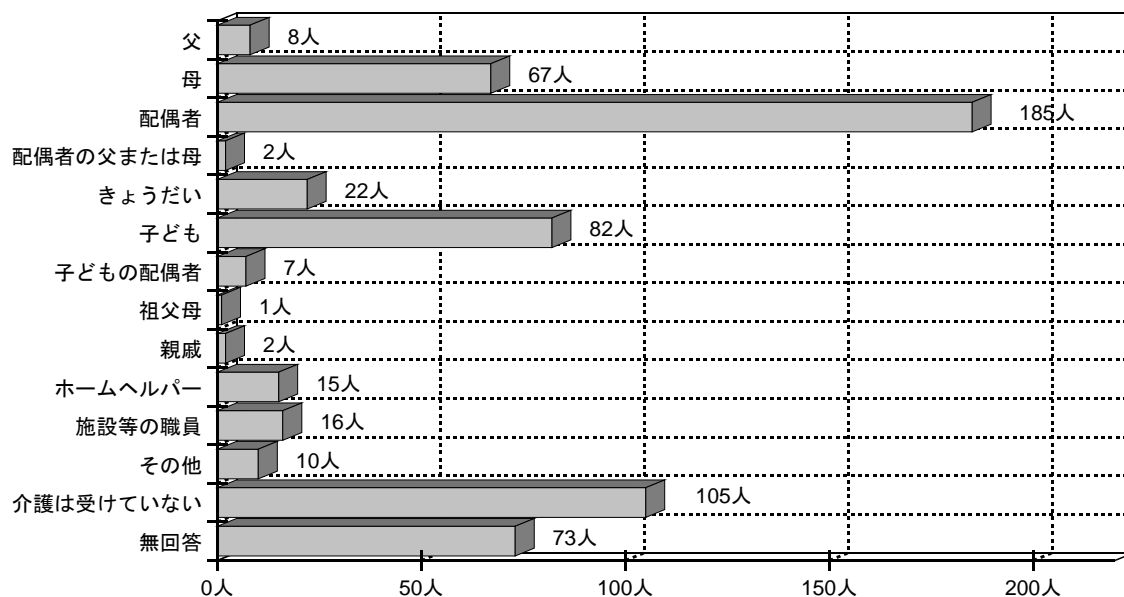


### 3 介護（介助）等の状況

#### 1 介護（介助）者等について

主に介護や介助、援助をしている人（以下「支援者」という。）については、「配偶者」が31.1%と最も多く、次いで「介護は受けていない」が17.6%となっています。

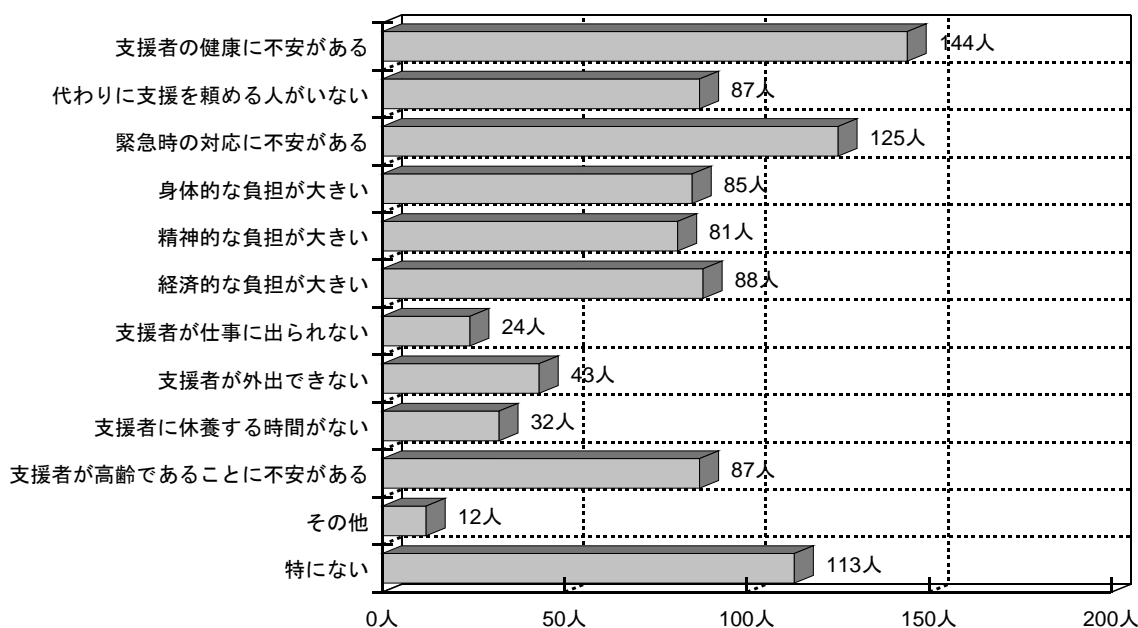
【主な介護（介助・援助）者の状況】



#### 2 介護（援助）等での不安について

介護（援助）等で感じていることについては、「支援者の健康に不安がある」が15.6%と最も多く、次いで「緊急時の対応」（13.6%）と続いています。

【介護（介助・援助）での不安[全体]】－複数回答

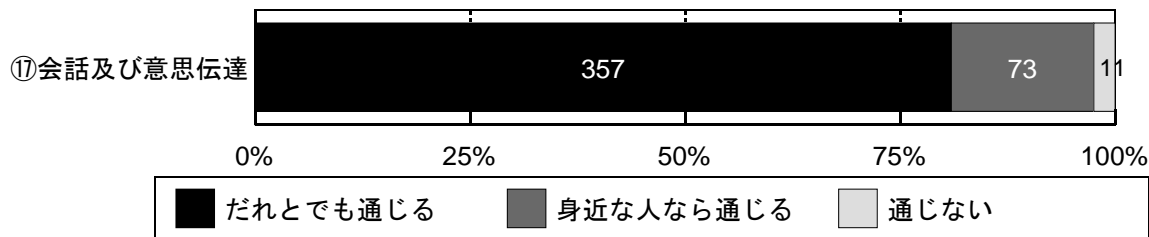
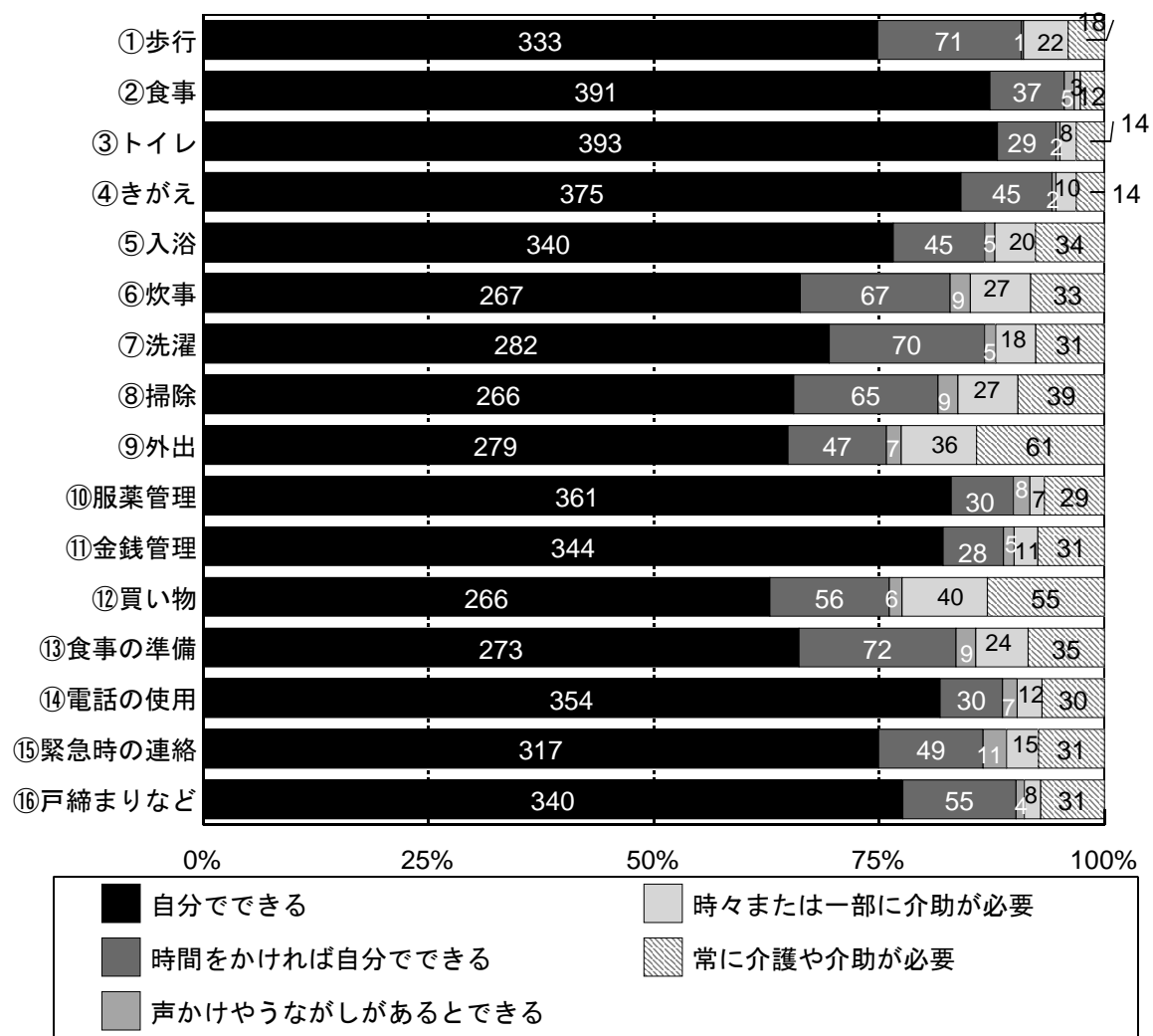


# 4 日常生活の状況

## 1 日常生活での動作について（身体障がいのある人）

身体障がいのある人の日常生活での動作については、全ての項目において75%以上の人が「自分でできる」、「時間をかければ自分でできる」と回答していますが、「外出」、「買い物」においては、他の項目と比べて若干低い割合となっております。

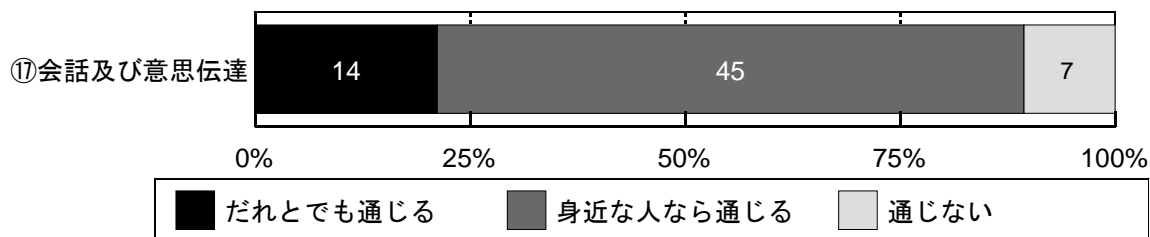
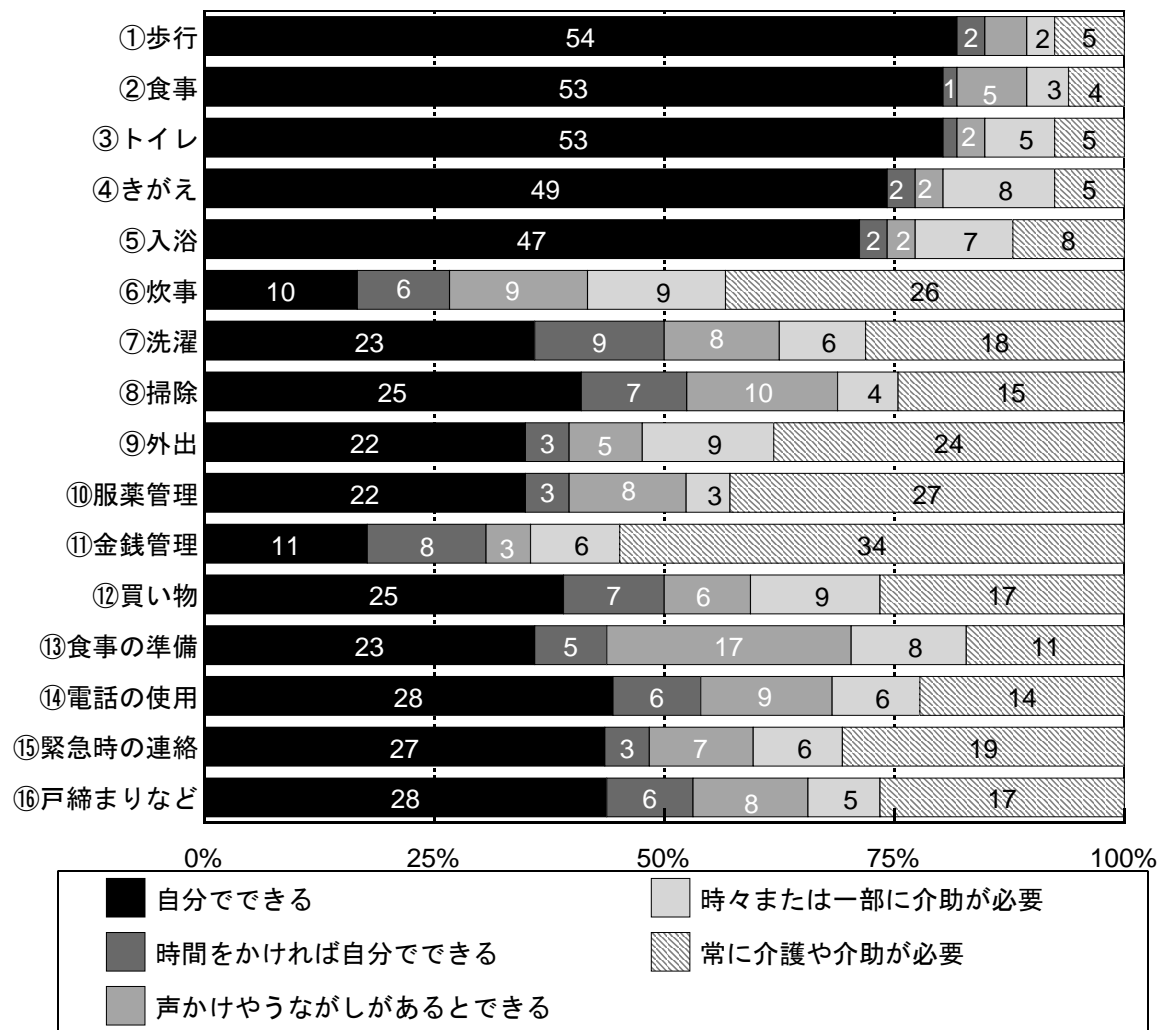
【身体障がいのある人の日常生活動作】



## 2 日常生活での動作について（知的障がいのある人）

知的障がいのある人の日常生活での動作については、「歩行」、「食事」、「トイレ」、「きがえ」、「入浴」などの動作については、「自分でできる」、「時間をかければ自分でできる」と6割以上の方が回答していますが、「炊事」、「外出」、「服薬管理」、「金銭管理」において「自分でできる」、「時間をかければ自分でできる」と回答する人が少なくなっています。

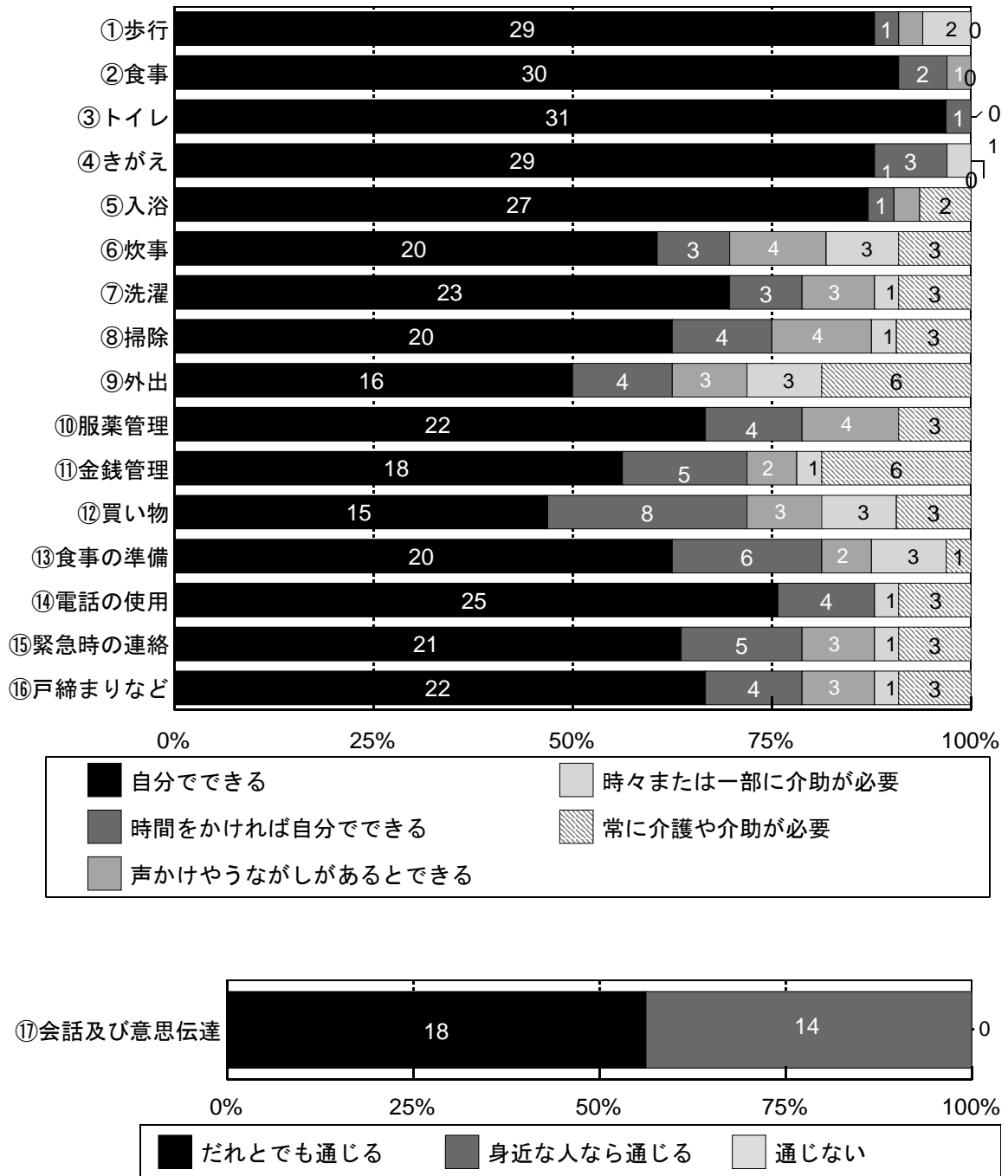
### 【知的障がいのある人の日常生活動作】



### 3 日常生活での動作について（精神障がいのある人）

精神障がいのある人の日常生活での動作については、ほとんど「自分でできる」、「時間をかければ自分でできる」と回答していますが、「炊事」及び「外出」については、割合が低くなっています。

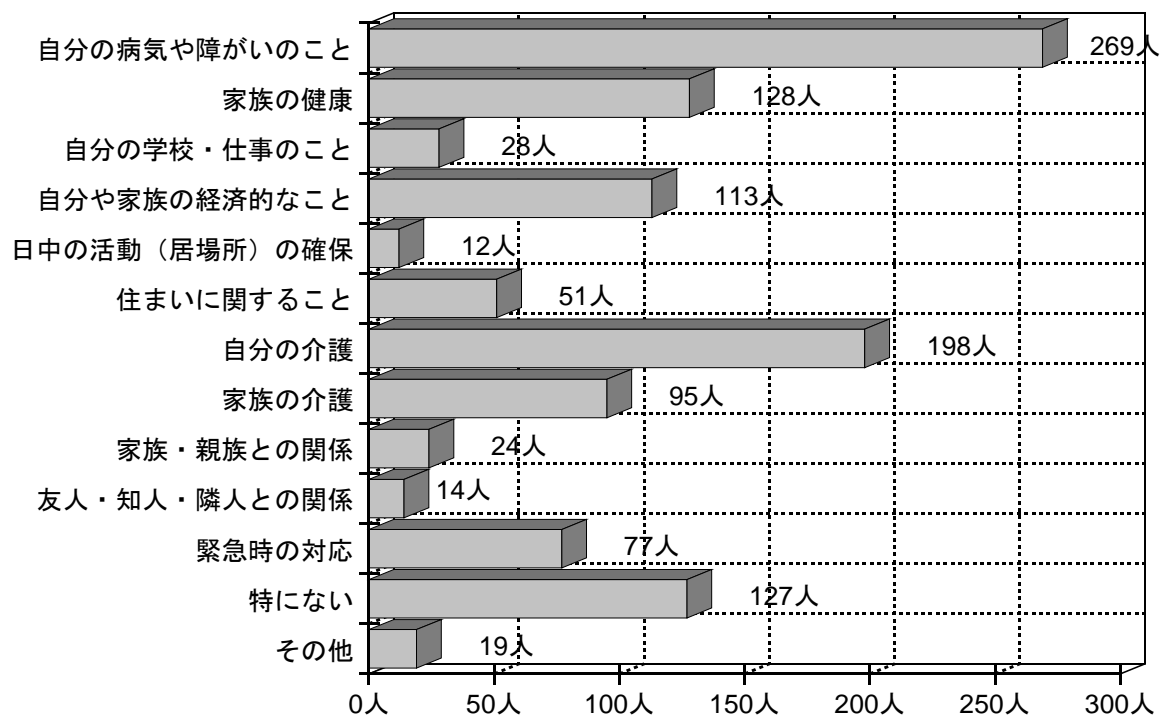
【精神障がいのある人の日常生活動作】



#### 4 悩みや相談事について

悩みや相談したいことについては、「自分の病気や障がいのこと」が23.3%と最も多く、次いで「自分の介護」が17.1%、「家族の健康」が11.1%となっています。

【悩みや不安（全体）】－複数回答



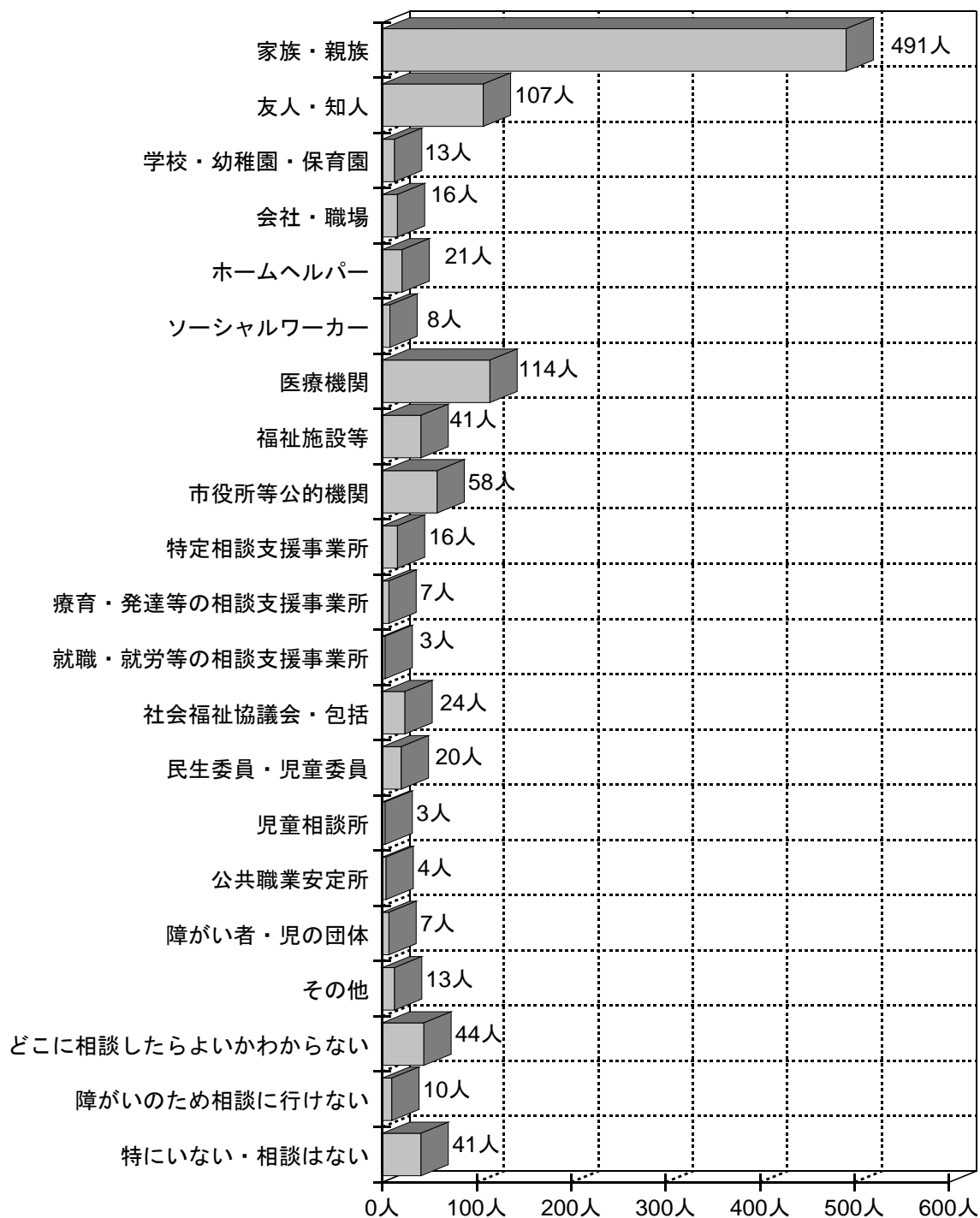
【悩みや不安（全体）】－複数回答

項目	実数（人）	割合（%）
自分の病気や障がいのこと	269	23.3
家族の健康のこと	128	11.1
自分の学校や仕事のこと	28	2.4
自分や家族の経済的なこと	113	9.8
日中の活動（居場所）の確保	12	1.0
住まいのこと	51	4.4
自分の介護	198	17.1
家族の介護	95	8.2
家族・親族との関係	24	2.1
友人・知人・隣人との関係	14	1.2
緊急時の対応	77	6.7
特にない	127	11.0
その他	19	1.6
合計	1,155	100.0

## 5 相談する相手について

相談する相手については、「家族・親族」が46.3%と最も多く、次いで「医療機関」が10.7%、「友人・知人」が10.1%となっています。

【相談先（全体）】－複数回答

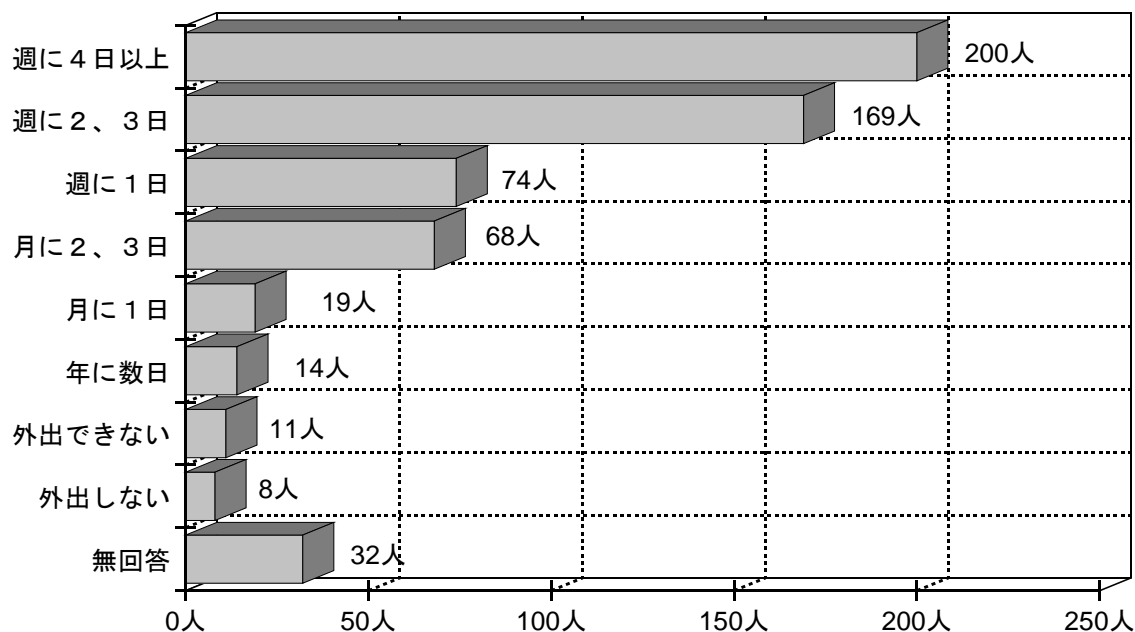


## 6 外出する頻度と交通手段について

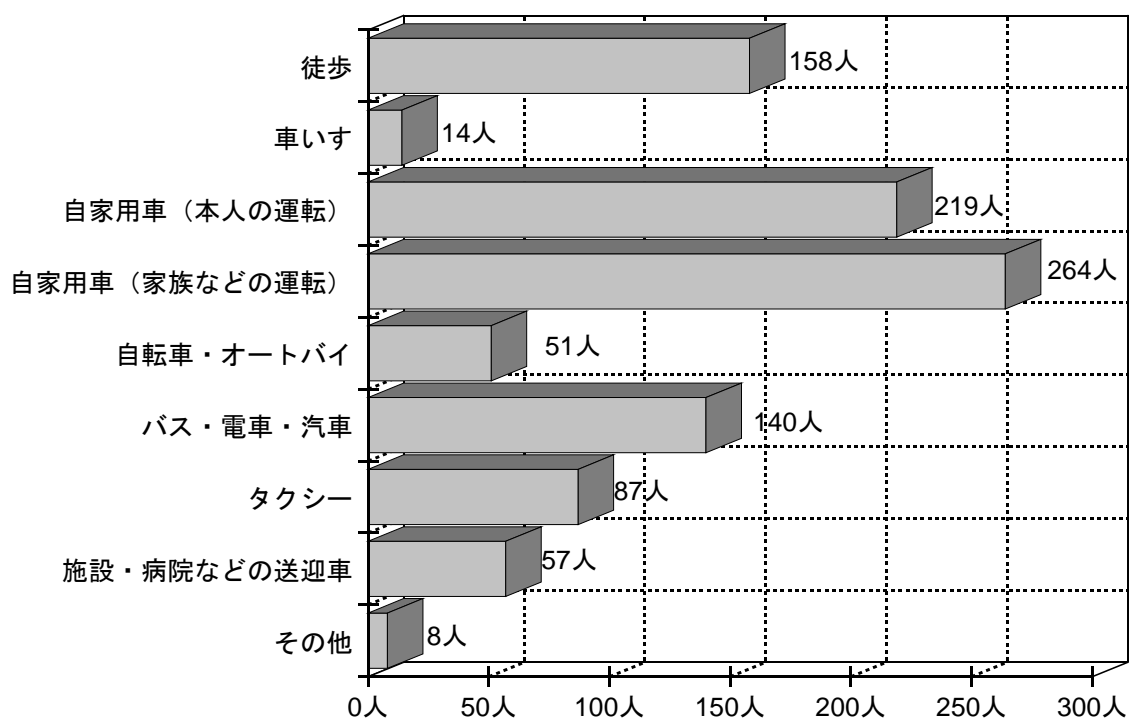
外出する頻度については、「週に4日以上」が33.6%と最も多く、次いで「週に2、3日」が28.4%、「週に1日」が12.4%となっています。

外出するときの交通手段については、「自家用車（家族などの運転）」が26.4%と最も多くなっています。

【外出頻度（全体）】



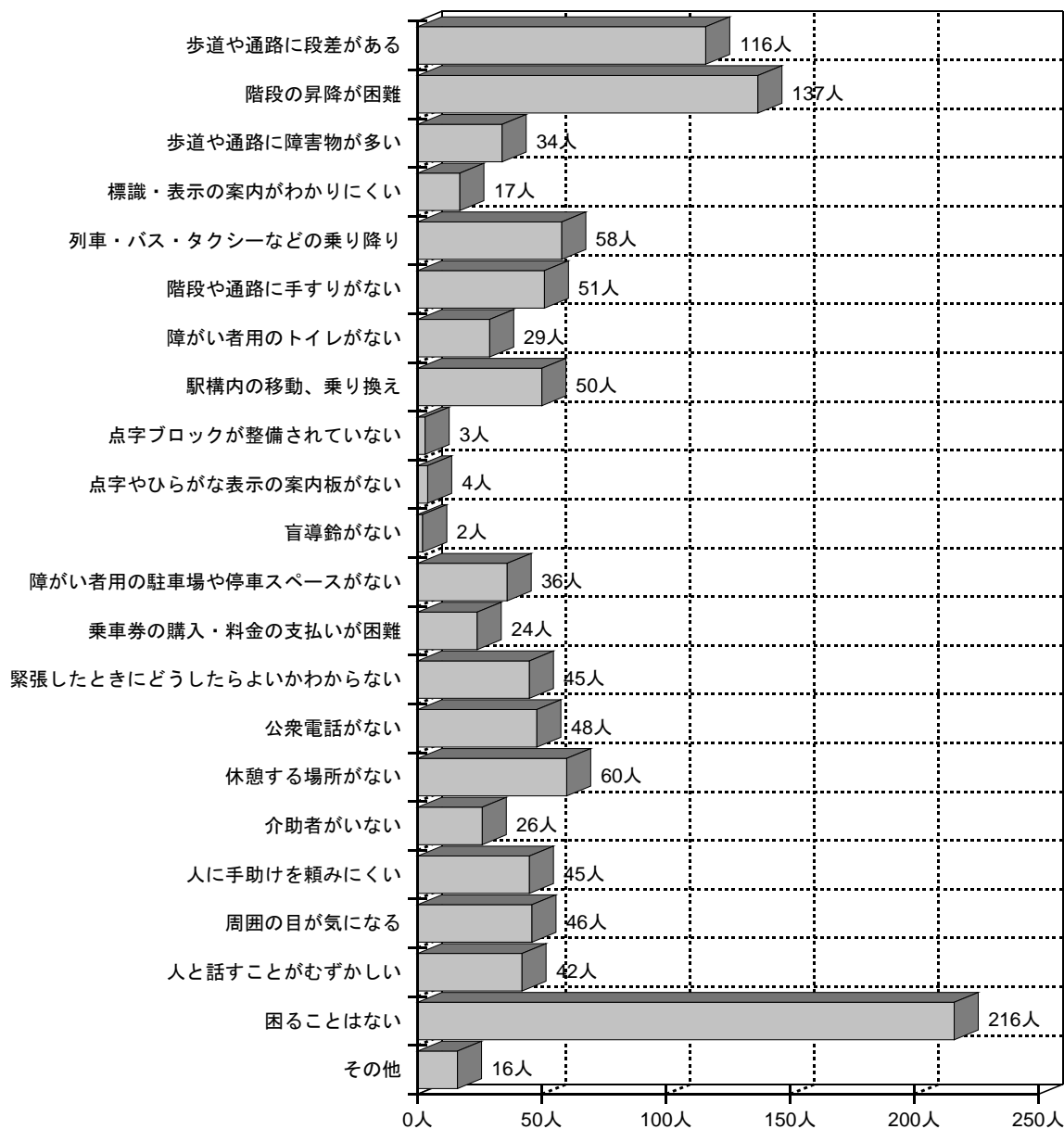
【交通手段（全体）】－複数回答



## 7 外出したときに困ること

外出したときに困ることについては、「困ることはない」が19.5%と最も多い一方で、8割以上の人が出出時に何らかの不便を感じています。

【外出したときに困ること（全体）】－複数回答





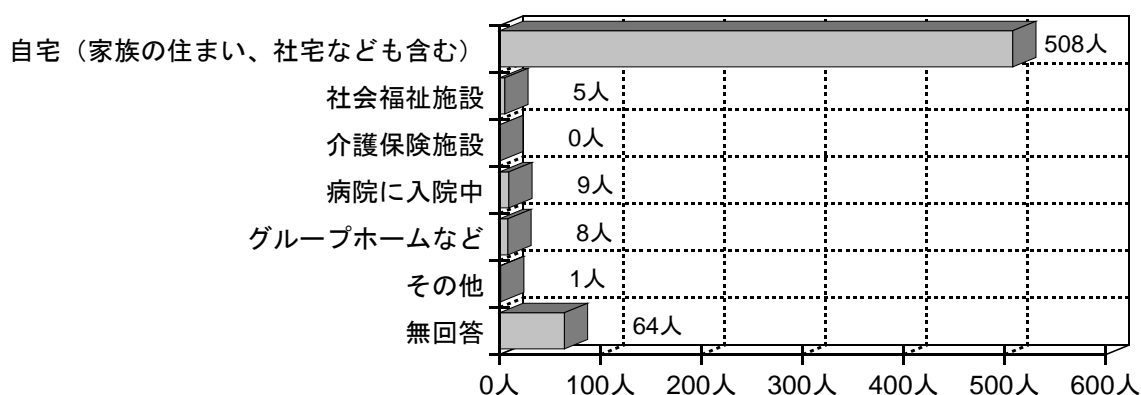
## 5 住まいの状況

### 1 暮らしているところ

暮らしているところについては、「自宅（家族の住まい、社宅なども含む）で暮らしている」が85.4%と最も多く、次いで「病院に入院中」が1.5%、「グループホームなど」が1.3%となっています。

自宅で暮らしていると回答した人の住まいについては、「持ち家（家族所有を含む）」と回答した人は79.9%で、次いで「民間の賃貸住宅」が10.0%、「公営住宅」が8.1%となっています。

【暮らしているところ（全体）】



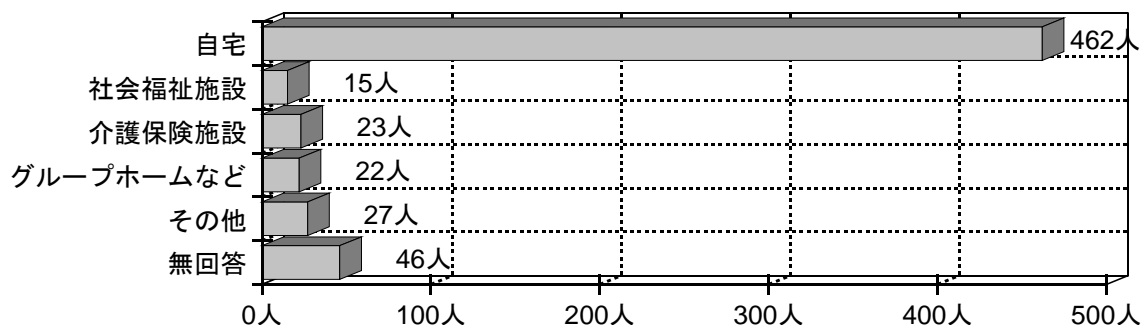
【自宅の内訳（全体）】



### 2 将来の生活の場について

将来的に希望している生活の場は、「自宅」が77.6%と最も多くなっています。

【将来の生活の場】

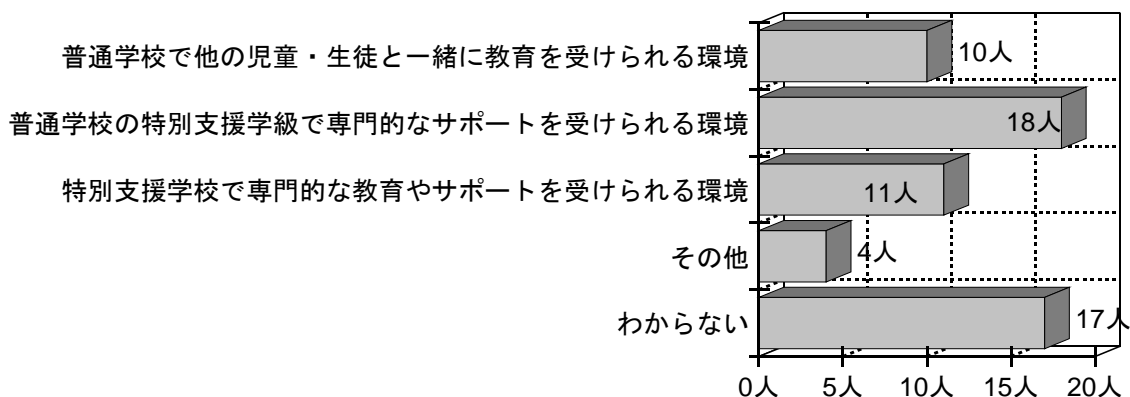


## 6 学校教育や療育の状況

### 1 教育環境に望むもの

教育環境に望むものについては、「普通学校の特別支援学級で専門的なサポートを受けられる環境」が30.0%と最も多く、次いで「特別支援学校で専門的な教育やサポートを受けられる環境」が18.3%、となっています。

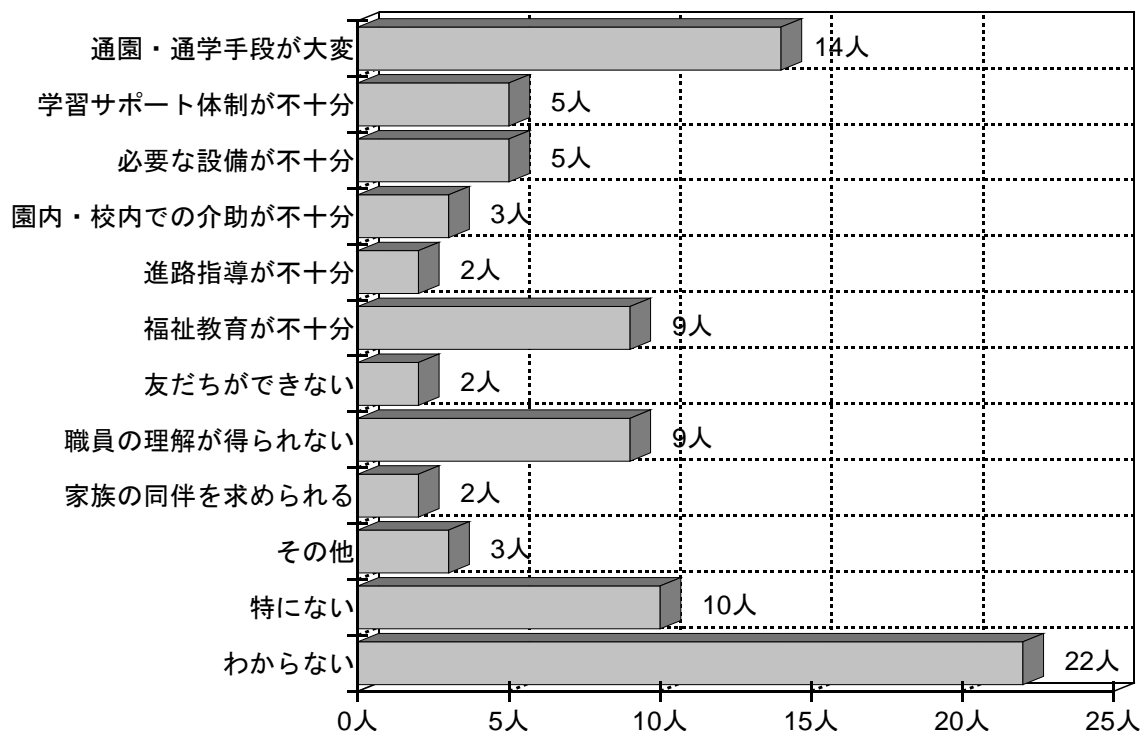
【希望する教育環境（通園・通学者）】－複数回答



### 2 学校、保育園、幼稚園で生活する上での問題

学校、保育園、幼稚園で生活する上での問題については、「通園・通学手段が大変」が16.3%と最も多くなっています。

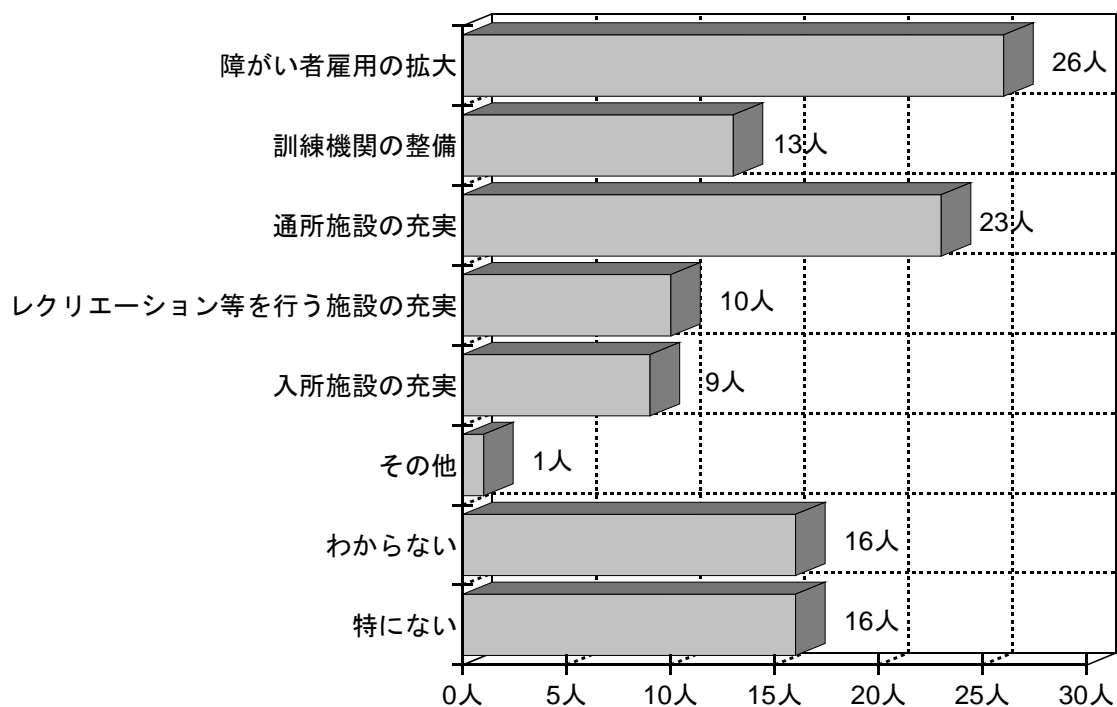
【学校、保育園、幼稚園での問題（通園・通学者）】－複数回答



### 3 卒業後の対策に望むこと

卒業後の対策に望むことについては、「障がい者雇用の拡大」が22.8%と最も多く、次いで「通所施設の充実」が20.2%となっています。

【卒業後の対策（通園・通学者）】－複数回答

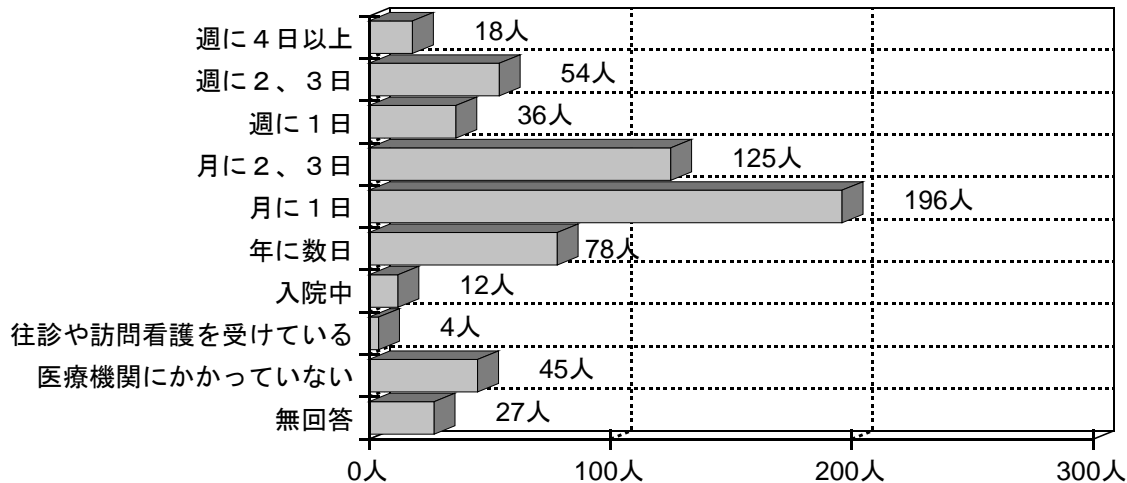


# 7 保健・医療の状況

## 1 通院（リハビリ）の状況について

通院（リハビリ）については、「月に1日」が32.9%で、「月に2、3日」が21.0%となっています。

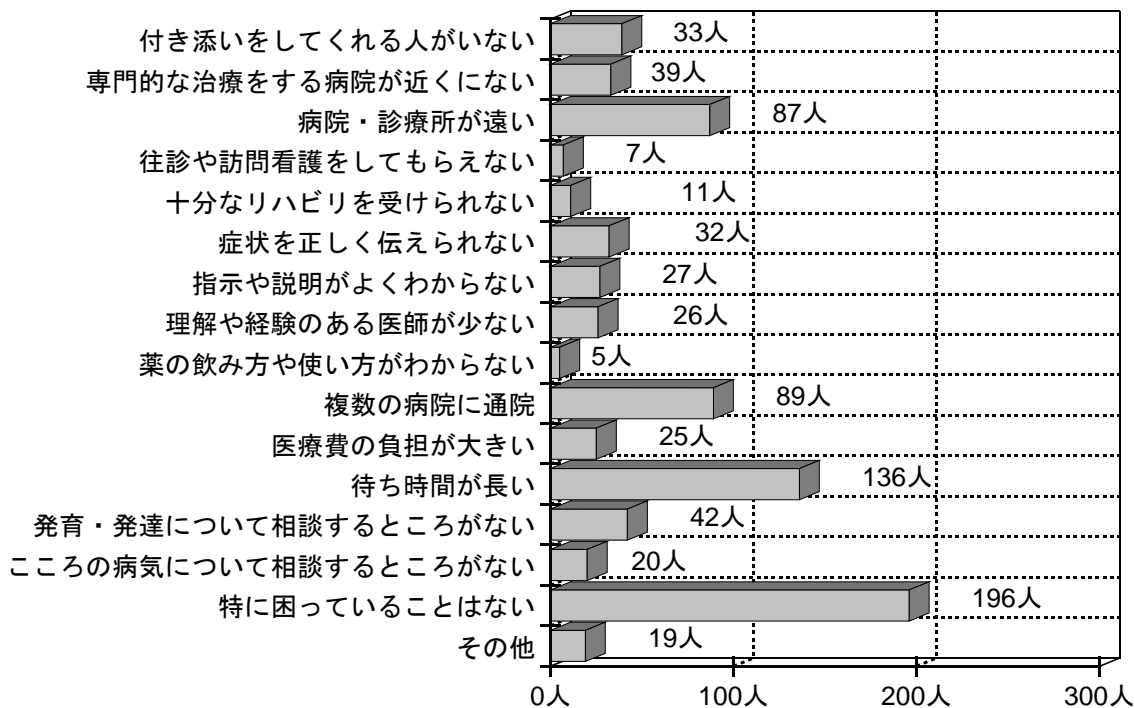
【通院・リハビリの頻度（全体）】



## 2 受診で困っていること

受診で困っていることについては、「待ち時間が長い」が24.2%と最も多く、次いで「複数の病院に通院」が15.9%となっています。

【受診で困っていること（全体）】－複数回答

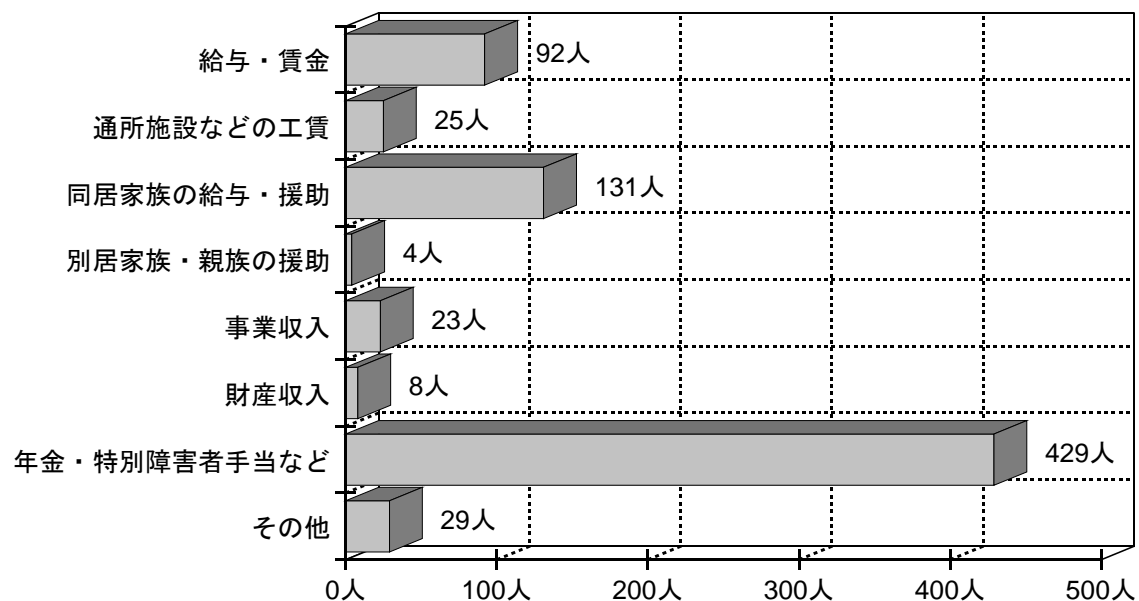


## 8 就労の状況

### 1 生活する上での収入について

生活する上での収入については、「年金・特別障害者手当など」が57.9%と最も多く、次いで「同居家族の給与・援助」が17.7%となっています。

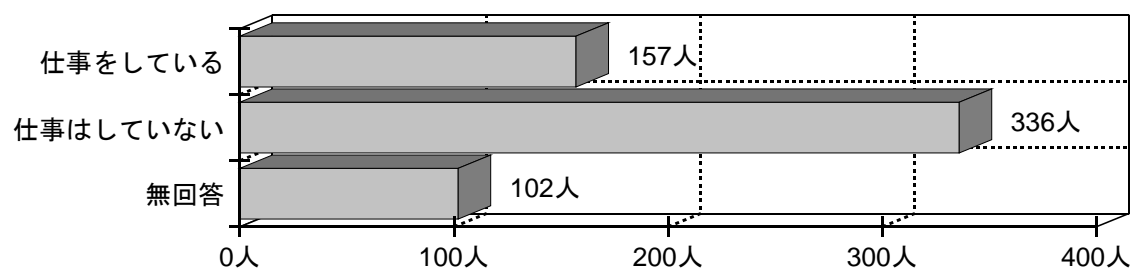
【収入の状況（全体）】－複数回答



### 2 就労の状況について

就労の状況については、「仕事をしている」が26.4%、「仕事をしていない」が56.5%となっています。

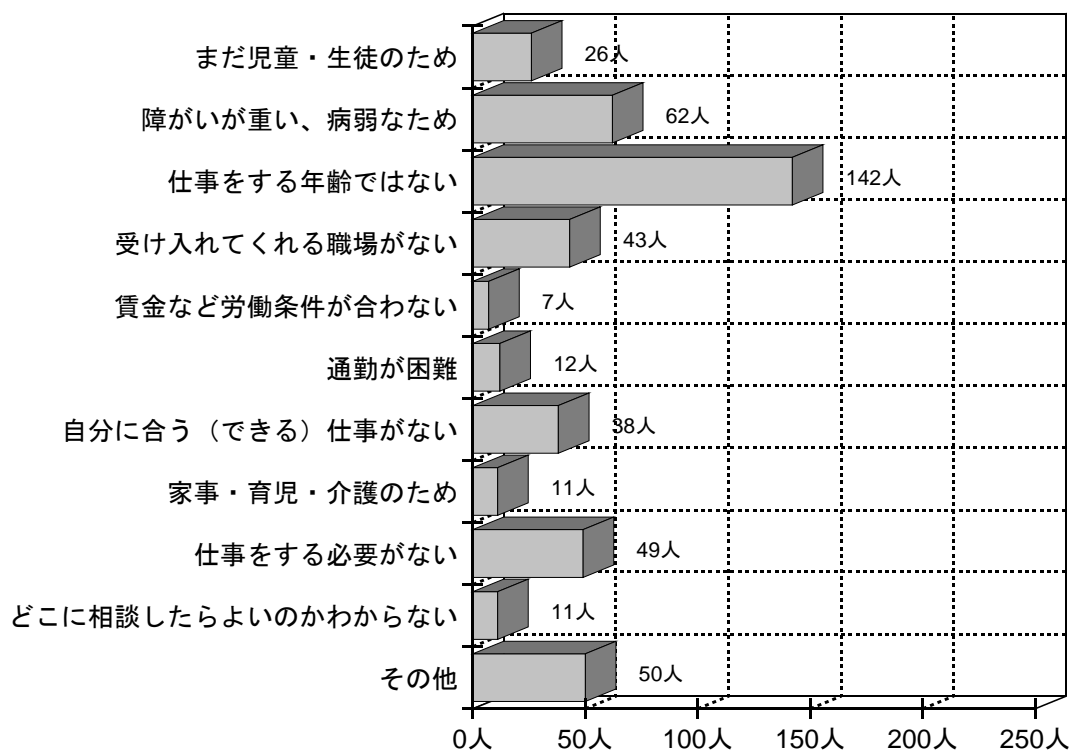
【就労の状況（全体）】



### 3 仕事をしていない理由

仕事をしていない理由については、「仕事をする年齢ではない」が31.5%と最も多く、次いで「障がい重い、病弱なため」が13.7%となっています。

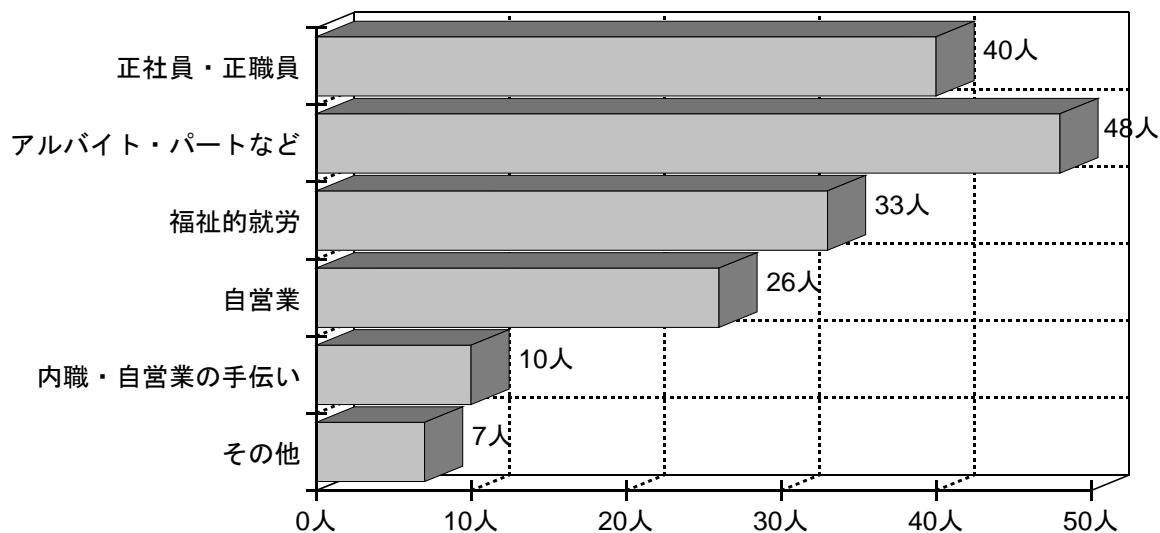
【仕事をしていない理由（仕事をしていない人）】－複数回答



### 4 就業形態について

就業形態については、「アルバイト・パートなど」が29.3%と最も多く、次いで「正社員・正職員」が24.4%、「福祉的就労」が20.1%となっています。

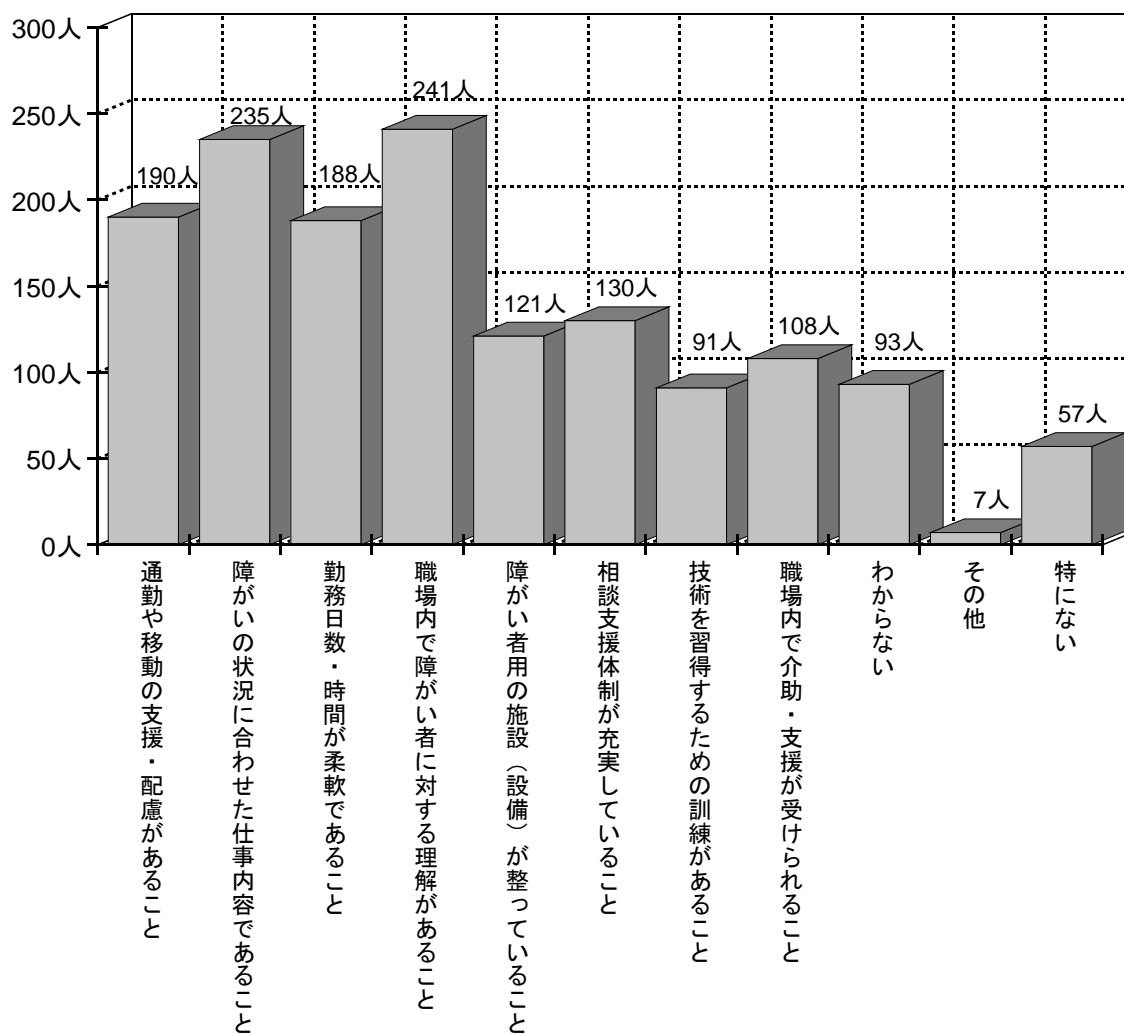
【就業形態（仕事をしている人）】



## 5 障がいのある人が働くための条件について

仕事をしていない人が働くための条件については、「職場内で障がい者に対する理解があること」が16.5%と最も多く、次いで「障がいの状況に合わせた仕事内容であること」が16.1%となっています。

【働くための条件（全体）】－複数回答

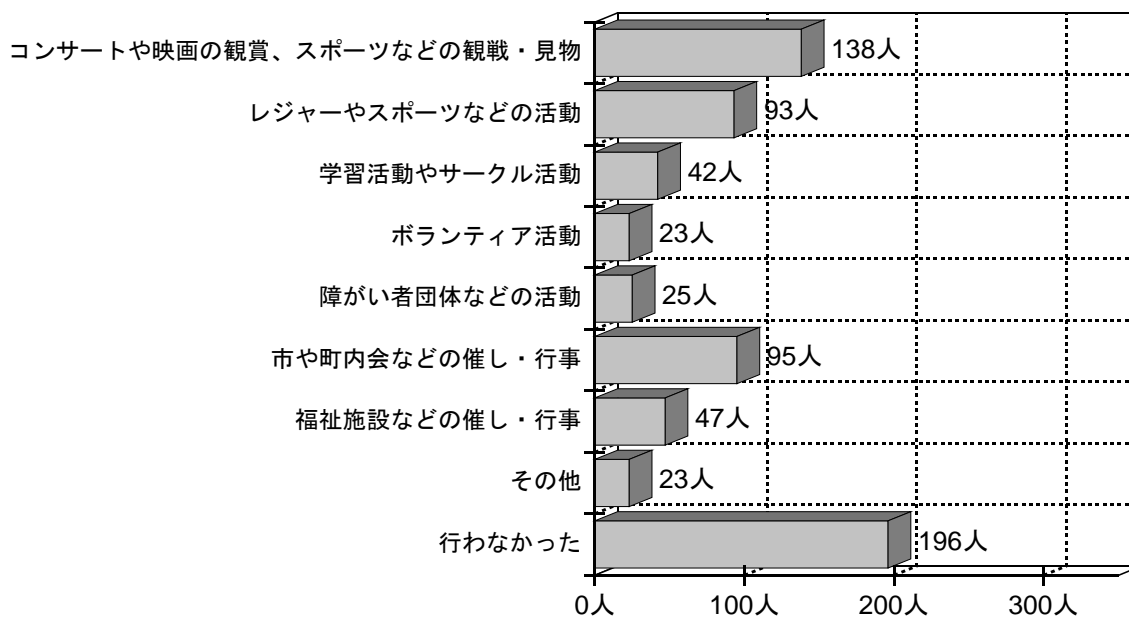


## 9 社会参加活動等の状況

### 1 趣味や学習、社会参加などの活動

この1年間に、趣味や学習、社会参加などの活動の状況については、「コンサートや映画の観賞、スポーツなどの観戦・見物」が20.2%と最も多く、次いで「市や町内会などの催し・行事」が13.9%、「レジャーやスポーツなどの活動」が13.6%となっています。

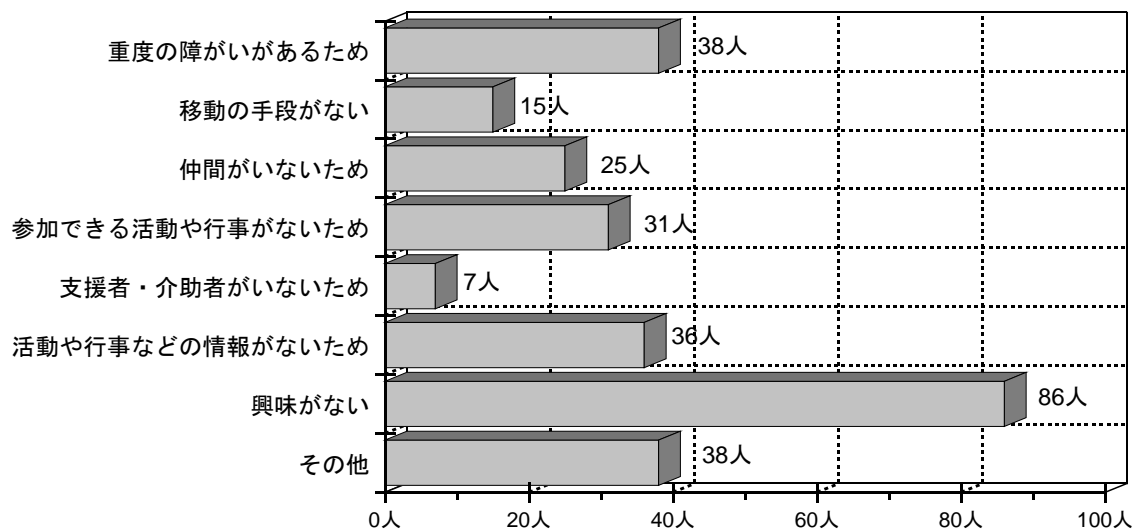
【社会参加活動の状況（全体）】－複数回答



### 2 行わなかった理由について

趣味や学習、社会参加などの活動で「行わなかった」理由については、「興味がない」が31.2%と最も多く、次いで「重度の障がいのため」が13.8%となっています。

【社会参加活動の不参加の理由（全体）】－複数回答



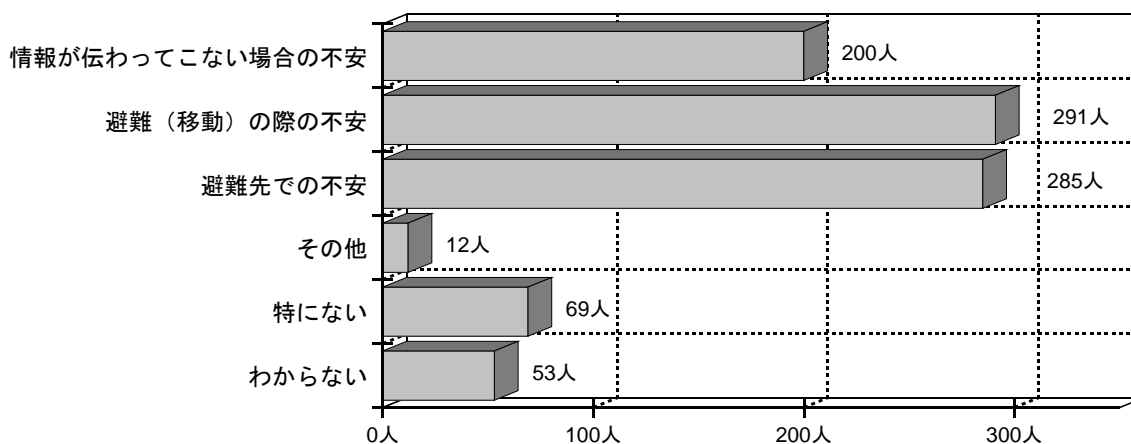


## 10 地域の防災について

### 1 災害時の不安について

災害時の不安については、「避難（移動）の際の不安」が32.0%と最も多く、「避難先での不安」が31.3%、「情報が伝わってこない場合の不安」22.0%となっており、災害に対する不安の高さが伺えます。

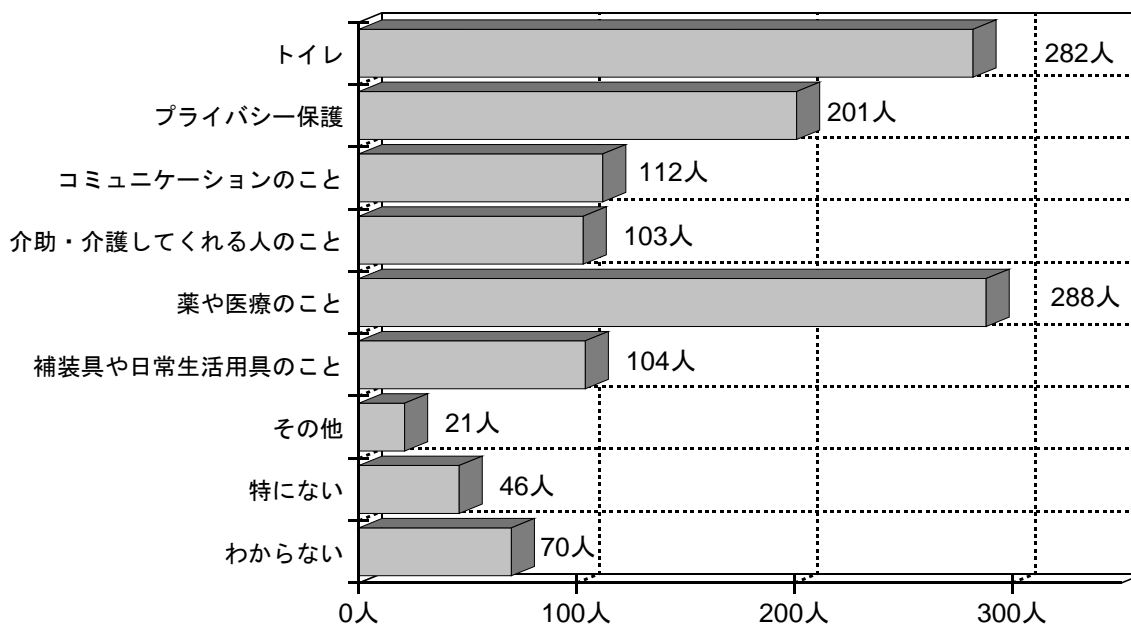
【災害時の不安（全体）】－複数回答



### 2 避難所で困ることについて

避難所で困ることについては、「薬や医療のこと」が23.5%と最も多く、次いで「トイレ」が23.0%、「プライバシー保護」が16.4%となっています。

【災害時の不安（全体）】－複数回答

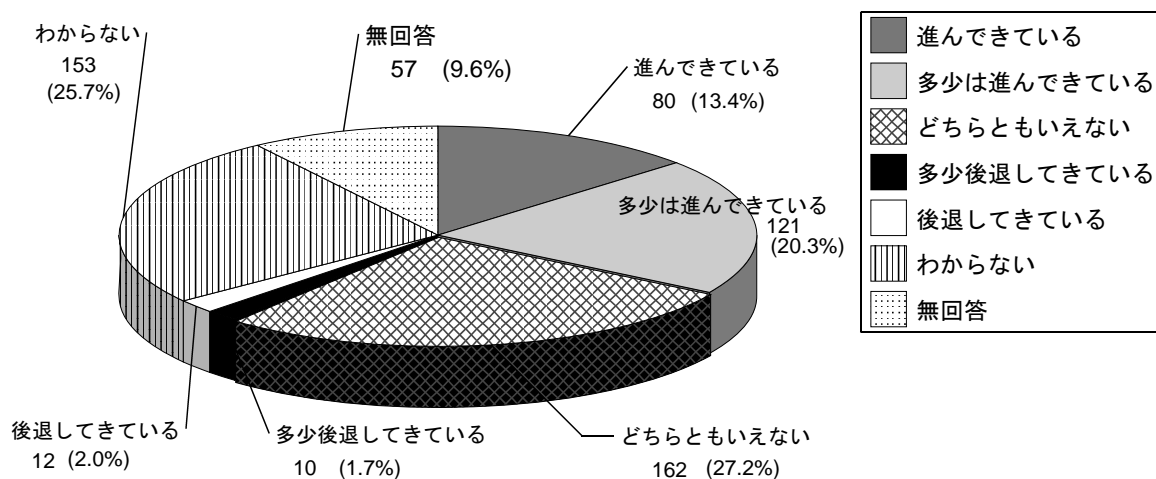


## 11 地域福祉や障がいへの地域での理解

### 1 地域の理解と社会的な支援について

地域の理解や地域・行政の社会的な支援については、「進んでいる」、「多少は進んでいる」が合わせて33.7%となっており、「多少後退してきている」、「後退してきている」の合計3.7%を大きく上回る回答となっています。

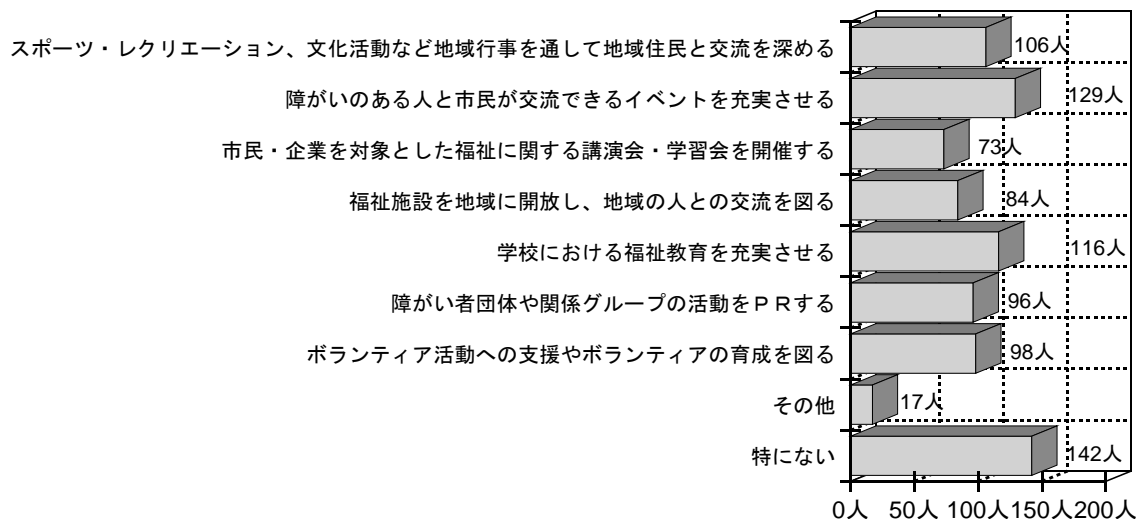
#### 【支援の状況】



### 2 障がいに対する市民の理解を深めるための方法について

市民の理解を深めるための方法として、「障がいのある人と市民が交流できるイベントを充実させる」が15.0%と最も多く、次いで「学校における福祉教育を充実させる」が13.5%、「スポーツ・レクリエーション、文化活動など地域行事を通して地域住民と交流を深める」が12.3%となっています。

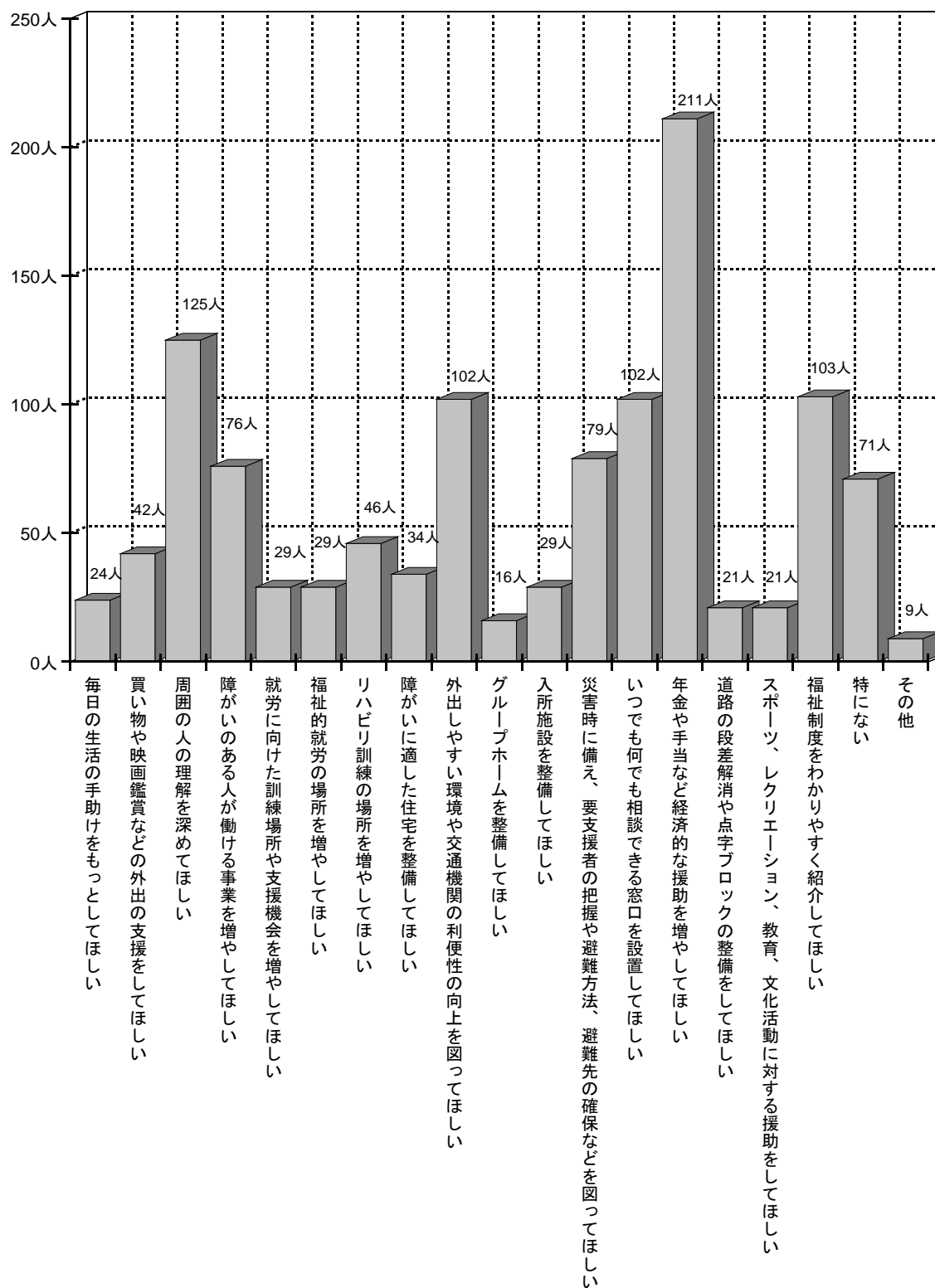
#### 【支援の状況（全体）】－複数回答



### 3 地域生活で必要と思われる施策について

地域で生活するために必要と思われる施策については、「年金や手当など経済的な援助を増やしてほしい」が18.0%と最も多く、次いで「周囲の人の理解を深めてほしい」が10.7%となっています。

【支援の状況（全体）】－複数回答



## 12 その他、アンケート調査での意見・要望について

平成29年11月に行った、発達に関する不安や障がいを持つお子様の保護者の方からの自由記載欄に寄せられた意見や要望等について以下に記載します。

- 学齢期の子のサービスは数多くできているが、成人した方のサービス、例えば児童デイの大人版みたいな者も増えると良い。
- 現状では、成人の入所施設には空きがなく、グループホームの入居では支援者の手が足りず難しい人もいます。成人向けの施設、もしくは24時間支援者が常駐するグループホームがもっと増えれば良い。
- 学校の先生は、全員が、障がい特性、配慮、支援の知識を勉強していただきたい。学校によって受けられる合理的配慮に差がある現状はおかしい。
- 現在、施設入所しているが、高校を卒業した後に行かせたいところに入れたい。「他の施設も考えてください」と周囲の人に言われるが、自分の子どもが終生生活するところを妥協できない。なぜ皆がその施設に殺到するのかを考えてほしいです。そういう支援ができる施設を増やすことを積極的に取り組んでほしい。
- 不登校になり、家にこもった状態になったため、18歳前であっても（市の）医療助成制度が受けられなかった。

## 第3節 入所施設利用者の現状

### 1 入所施設の利用状況

#### (1) 入所施設の利用状況

入所施設の利用状況については、平成29年10月1日現在の施設入所者数は119人で、市内の施設に入所している人が63人（52.9%）、市外の施設に入所している人が56人（47.1%）となっています。

##### 《入所施設の利用状況》

区 分	施 設 数		入 所 者 数			
	市 内	市 外	市 内	市 外		
施設入所支援	24	7	17	112	63	49
療養介護	3	-	3	7	-	7
合 計	27	7	20	119	63	56

#### (2) 主たる障がい別の利用状況

主たる障がい別の利用状況については、平成29年10月1日現在で身体障がいのある人が29人（24.4%）、知的障がいのある人が90人（75.6%）となっています。

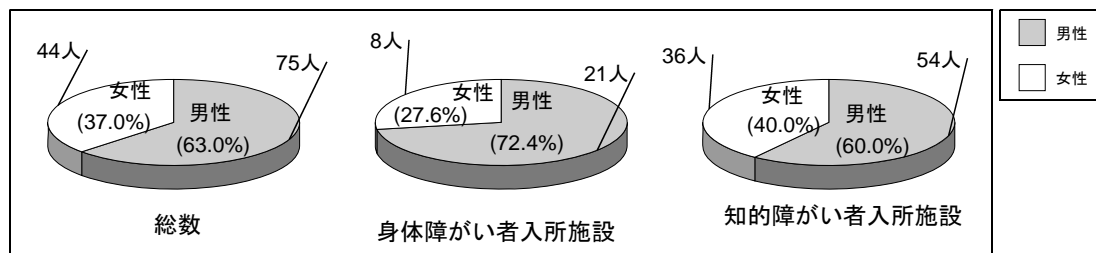
##### 《障がい別の利用状況》

区 分	施設数	入 所 者 数		
		身体障がい者	知的障がい者	
施設入所支援	24	112	22	90
療養介護	3	7	7	0
合 計	27	119	29	90

## 2 施設を利用している人の現状

### (1) 利用者の性別

ご本人の性別を見ますと、身体障がい者入所施設では「男性」が72.4%、「女性」が27.6%となっており、知的障がい者入所施設では、「男性」が60.0%、「女性」が40.0%となっています。



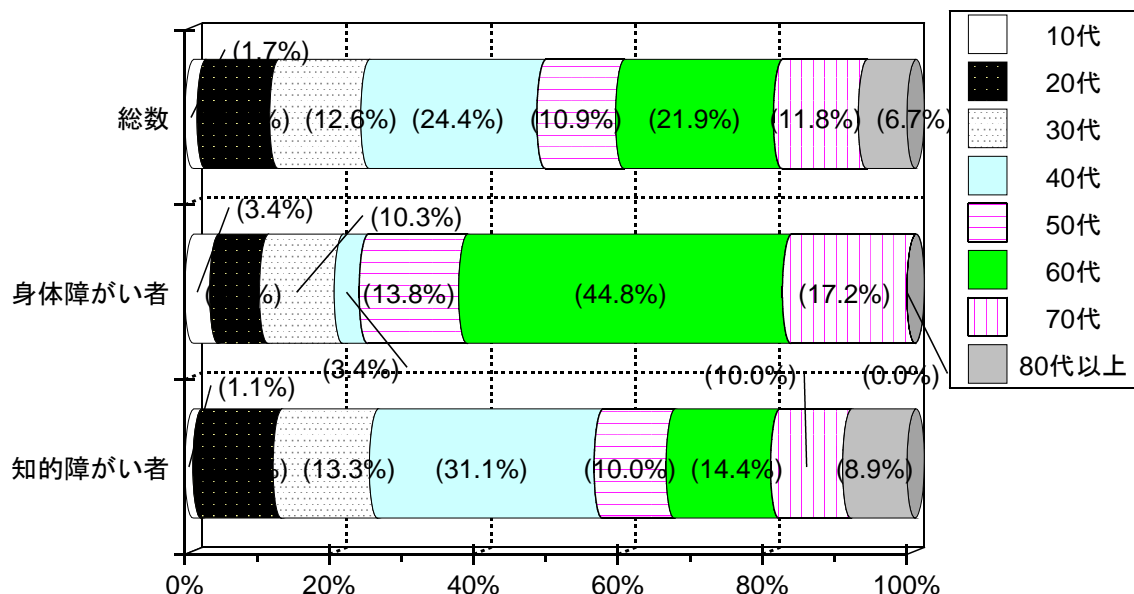
《利用者の性別》

(単位：人)

施設区分 \ 性別	身体障がい者		知的障がい者	
	施設入所支援	療養介護	施設入所支援	
男性	21	15	6	54
女性	8	7	1	36
合計	29	22	7	90

### (2) 利用者の年齢

利用者の年齢を見ますと、総数では「40代」が24.4%と最も多く、次いで「60代」が21.9%となっています。



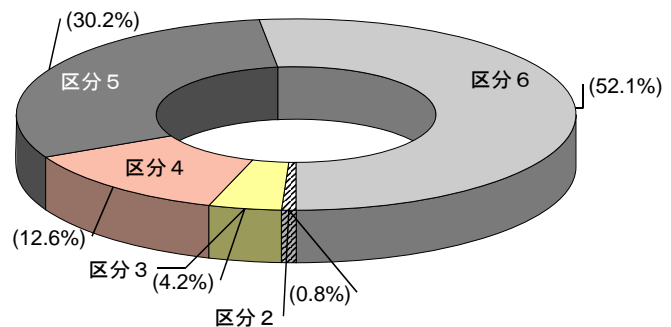
《利用者の年齢構成》

(単位：人)

施設区分 年齢区分	身体障がい者		知的障がい者	計
	施設入所支援	療養介護	施設入所支援	
10代	1	0	1	2
20代	2	0	10	12
30代	3	1	12	15
40代	1	0	28	29
50代	4	4	9	13
60代	13	13	13	26
70代	5	4	9	14
80代以上	0	0	8	8
合計	29	22	90	119

(3) 利用者の障害支援（程度）区分認定状況

障害支援（程度）区分の認定状況については、「区分6」が52.1%、「区分5」が30.2%、「区分4」が12.6%となっています。



《障害支援（程度）区分の認定状況》

(単位：人)

施設区分 障害支援区分	身体障がい者		知的障がい者	計
	施設入所支援	療養介護	施設入所支援	
区分1	-	-	-	0
区分2	1	1	-	1
区分3	4	4	1	5
区分4	3	3	12	15
区分5	4	4	32	36
区分6	17	10	45	62
合計	29	22	90	119

